

**平成30年度
生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略
進行管理検証報告書**

**令和元年10月
生駒市**

目次

1 生駒市まち・ひと・しごと・創生総合戦略の取組状況評価について	1
(1)生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	1
(2)総合戦略策定にあたってのこれまでの経緯と今後の進行管理について	2
(3)各取組項目の評価方法について	3
2 平成30年度取組状況検証結果 総括	4
(1)評価結果の総括	4
(2)地方創生交付金関係KPI一覧	6
3 平成30年度施策の進捗状況検証結果 個票	7
基本目標1に対する効果	7
1-1-1 保育園の新設・機能強化	8
保育所の整備	8
一時預かり保育等保育サービスの充実	9
私立保育所の保育環境改善事業	10
1-1-2 幼稚園の保育機能の充実	12
幼稚園での預かり保育の実施	12
幼稚園における幼保一体化の支援(幼稚園への保育機能の強化)	13
1-1-3 病児保育機能の強化	14
病児保育等、病院への育児機能の導入	14
1-2-1 子育て層を応援する情報提供の推進	15
子育て層向けの情報発信	15
赤ちゃんの駅普及啓発事業	17
1-2-2 子育て層の交流促進	19
子育てサークルの支援	19
パパのための子育てイベントの開催	20
1-2-3 地域で子育てを見守る体制の強化	21
地域・行政・周囲のひとによる子育ての見守り強化	21
1-2-4 地域活動への参加機会の創出	23
ママのプロボノ活動促進事業	23
新規NPOの立ち上げ支援	24
NPOの広報活動の支援	25
1-3-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上	27
公共施設の耐震化	27
乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄	27
自主防災会の活動支援・促進	29
自主防犯活動支援・促進	29
1-3-2 地球環境にやさしいエネルギー利用の推進	31
再生可能エネルギー(太陽光発電等)の導入	31
1-3-3 住宅供給の推進	33
既存住宅の流通支援	33
既存住宅の診断や改修に対する支援による流通促進	34

1-4-1	子育て世帯への経済的支援	36
	医療費助成等	36
	母子保健の充実	37
	基本目標2に対する効果	39
2-1-1	ワーク・ライフ・バランスの推進	40
	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発	40
	テレワークの推進	41
	女性の活躍推進	42
2-2-1	市内産業の活性化	44
	企業の誘致	44
	設備導入等支援事業	45
2-3-1	ビジネスにつながる人的ネットワークの形成	47
	産官学連携による起業希望者等・起業支援者交流会等の実施	47
2-3-2	起業に対するきめ細かな支援の充実	49
	起業者を支援する体制づくり及び情報発信	49
	起業支援スペース等の整備	50
	起業支援融資に係る利子補給	51
2-4-1	子育て支援に関する事業活動の創出	52
	地域型保育事業の整備	52
	ファミリーサポート事業の需要・供給両面からの利便性向上	53
2-4-2	介護・福祉分野における事業活動の創出	54
	介護関係資格取得費の支援	54
	地域密着型サービス事業所の整備	55
2-4-3	食に関する地域産業の創出	56
	新規就農の支援	56
	農産品の加工・特産品の開発支援	56
	地産地消の推進	57
	基本目標3に対する効果	59
3-1-1	イベントの開催	60
	イコマニア100の実施	60
3-1-2	文化芸術活動やスポーツレクリエーション活動への参加機会の創出	62
	文化芸術活動への参加機会の創出	62
	子どもを対象としたスポーツイベントの開催	63
	トップアスリートと市内総合型地域スポーツクラブ、市の連携事業の開催	64
3-1-3	教育環境の充実	66
	学校図書館司書の配置の拡充	66
	高山スーパースクールゾーン構想	66
	夢を与える講演会・学校創造推進事業	68
3-1-4	協働による魅力創造	70
	生駒の魅力発信プロジェクト	70

3-2-1 まちの魅力発信	72
子育て・教育環境の良さを効果的に発信	72
子育て関連のパンフレット・ホームページ作成	73
3-2-2 観光振興や広域交流の促進	75
観光・交流の促進	75

附属資料

1 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議要綱	78
2 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 参加者名簿	79
3 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価集約表	80

1 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況評価について

(1) 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、国が定めた「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略」及び「生駒市人口ビジョン」を勘案し定めたもので、第5次総合計画を特出し・深掘りした計画となっている。

本市の女性は優れた知識や技能を持った方が多く居住していながらも就業率が低く、その高いポテンシャルを活かしきれていないこと等から、総合戦略では、子育て層、特に女性をターゲットとし、下図に示すように、3つの「基本目標」に示す将来像を展望して、「施策に対する基本的方向」（10項目）を定め、取組の内容として「具体的な施策」（24項目）を掲げている。

基本目標	施策に対する基本的方向	具体的な施策
1 子育てしやすいまち	1-1 子育て層の時間的なゆとりをつくる	1-1-1 保育園の新設・機能強化
		1-1-2 幼稚園の保育機能の充実
		1-1-3 病児保育機能の強化
	1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる	1-2-1 子育て層を応援する情報提供の推進
		1-2-2 子育て層の交流促進
		1-2-3 地域で子育てを見守る体制の強化
		1-2-4 地域活動への参加機会の創出
	1-3 良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる	1-3-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上
		1-3-2 地球環境にやさしいエネルギー利用の推進
		1-3-3 住宅供給の推進
1-4 経済面での出産・子育ての不安を軽減する	1-4-1 子育て世帯への経済的支援	
2 母親が希望のしごとをできるまち	2-1 企業での多様な働き方を広げる	2-1-1 ワーク・ライフ・バランスの推進
		2-2-1 市内産業の活性化
	2-2 市内での雇用を生み出す事業活動を伸ばす	2-2-1 市内産業の活性化
		2-3-1 ビジネスにつながる人的ネットワークの形成
	2-3 子どもの近くで母親が希望する仕事に就ける環境をつくる	2-3-2 起業に対するきめ細かな支援の充実
		2-4-1 子育て支援に関する事業活動の創出
	2-4 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる	2-4-2 介護・福祉分野における事業活動の創出
		2-4-3 食に関する地域産業の創出
3 子育て層（特に女性）が転入したいまち		3-1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり
	3-1-2 文化芸術活動やスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の創出	
	3-1-3 教育環境の充実	
	3-1-4 協働による魅力創造	
	3-2 生駒の認知度や都市ブランド力を向上させる	3-2-1 まちの魅力発信
		3-2-2 観光振興や広域交流の促進

(2) 総合戦略策定にあたってのこれまでの経緯と今後の進行管理について

総合戦略の計画期間は、平成27年度から令和元年度までの5年間である。

一方で、総合戦略が策定されたのは平成27年12月であり、総合戦略の中には、これまで継続して行ってきた事業もあれば、総合戦略に盛り込むことが決定してから予算化し、平成28年度から事業を開始するものまで様々存在する。さらに、一部の事業は、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）（以下、「地方創生先行型交付金」という。）を活用するために、平成26年度中にも関わらず、その後策定する総合戦略に盛り込むことが予め見込まれる事業を予算化し、総合戦略に盛り込んでいる。

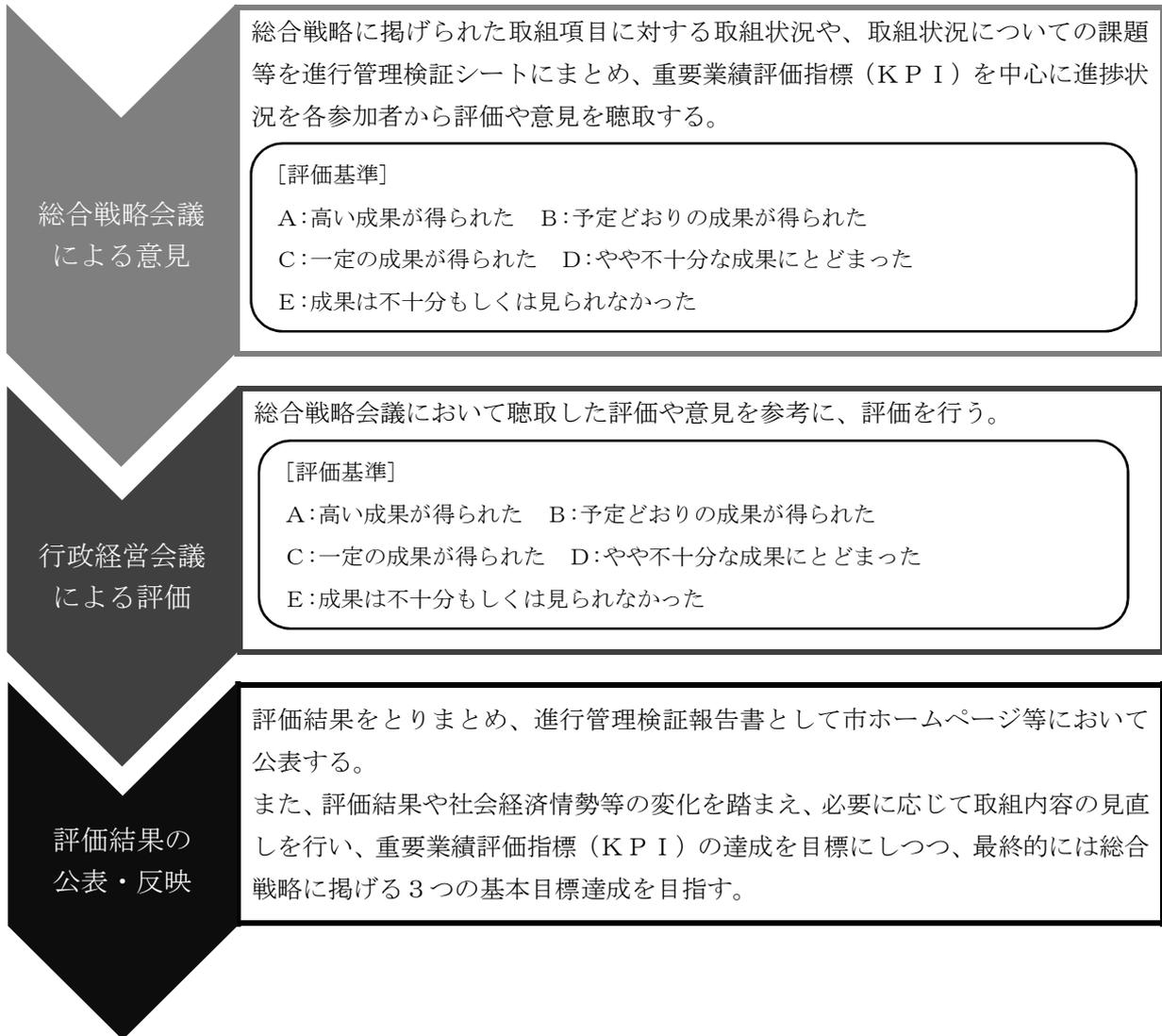
総合戦略の進行管理については、計画期間内において確実な成果を達成するため、行政の執行部門と地域の事業関係主体とが、協働によりPDCAサイクルを実践することが可能となるよう、各担当部課が進捗状況を「生駒市行政経営会議」（以下、「行政経営会議」という。）に報告し、「生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」（以下「総合戦略会議」という。）の意見を得ながら、行政経営会議において、計画の進捗状況を検証することになっている。

平成28年度以降、毎年、前年度の取組状況について、総合戦略会議において評価や意見を聴取し、行政経営会議において評価を決定する。また、報告書を議会に報告するとともに、市ホームページに公表する。



(3) 各取組項目の評価方法について

進行管理を行うにあたって、令和元年6月4日に総合戦略会議（全体会）において、意見を聴取し、8月21日の行政経営会議において、市としての評価を行った。



2 平成30年度取組状況検証結果 総括

(1) 評価結果の総括

各具体的施策をA～E評価した結果は、下記のとおりとなっている。

評価基準	件数	割合 (%)
A:高い成果が得られた	7	29.2
B:予定どおりの成果が得られた	13	54.2
C:一定の成果が得られた	3	12.5
D:やや不十分な成果にとどまった	1	4.2
E:成果は不十分もしくは見られなかった	0	0.0
	24	100.0

「高い成果が得られた」と評価されたものが、昨年度から2件増加し7件となっており、取組の進捗が見て取れる。一方で、「やや不十分な成果にとどまった」と、評価されたものが1件あり、分野によっては取組が遅れているものもある。

しかしながら、80%以上が「予定どおりの成果が得られた」以上の評価となっており、昨年度（58.3%）と比べて、大幅に向上しており、全体的に順調に進捗しているといえる。

①「基本目標1 子育てしやすいまち」の取組状況評価結果

評価基準	件数	割合 (%)
A:高い成果が得られた	2	18.2
B:予定どおりの成果が得られた	7	63.6
C:一定の成果が得られた	1	9.1
D:やや不十分な成果にとどまった	1	9.1
E:成果は不十分もしくは見られなかった	0	0.0
	11	100.0

80%以上がB評価以上となっており、全体的に順調に進捗しているといえる。中でも、「子育て層の交流促進」、「地域で子育てを見守る体制の強化」については、A評価となった。セミナーの開催等による男性の育児参加の推進、「おでかけみっき」の開催やマタニティコンシェルジュによる相談事業等が、子育て層の満足度の向上に結びついている。

②「基本目標2 母親が希望のしごとをできるまち」の取組状況評価結果

評価基準	件数	割合 (%)
A:高い成果が得られた	2	28.6
B:予定どおりの成果が得られた	4	57.1
C:一定の成果が得られた	1	14.3
D:やや不十分な成果にとどまった	0	0.0
E:成果は不十分もしくは見られなかった	0	0.0
	7	100.0

7項目全てが「一定の成果が得られた」以上となっており、取組は進められている。中でも「ビジネスにつながる人的ネットワークの形成」、「起業に対するきめ細かな支援の充実」については、A評価となった。講座や講習会の開催が人的ネットワークの形成に結びつくとともに、テレワーク&インキュベーションセンターを中心とした支援が起業に結びついている。

③「基本目標3 子育て層が（特に女性）が転入したいまち」の取組状況評価結果

評価基準	件数	割合 (%)
A:高い成果が得られた	3	50.0
B:予定どおりの成果が得られた	2	33.3
C:一定の成果が得られた	1	16.7
D:やや不十分な成果にとどまった	0	0.0
E:成果は不十分もしくは見られなかった	0	0.0
	6	100.0

6項目全てが「一定の成果が得られた」以上となっており、取組は進められている。中でも「イベントの開催」、「文化芸術活動やスポーツレクリエーション活動への参加機会の創出」、「協働による魅力創造」については、A評価となった。イコマニアイベントの開催、コンサートイベントの充実や「いこまち宣伝部」の活動等がまちのイメージ向上に結びついた。一方で、数値目標である「子育て層の転入者数」は、引き続き減少しており、転入を阻害している要因を分析し、より効果的な取組への転換が求められる。

(2) 地方創生交付金関係KPI一覧

先行型交付金 ※各個票に【先行型対象】と表示		KPI	目標値		現状値
			R1	H30	H30
1-1-1	私立保育所の保育環境改善事業	改修後保育所入所児童数／改修前保育所入所児童数	105%	105%	114%
1-2-1	赤ちゃんの駅普及啓発事業	赤ちゃんの駅（モデルスペース）利用者数	180人	180人	921人
1-3-1	乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄	防災訓練等での当該備蓄品の活用回数（年間）	4回	4回	4回
		乳幼児を持つ世帯向け防災パンフレットの延べ配布数	5,000部	4,000部	6,750部
		子育て層の定住意向「ずっと住みつづきたい」の割合	58.0%	56.0%	55.1%
2-2-1	設備導入等支援事業	機器設備導入企業における売上増〔累計〕 H26年度比	2.0%	2.0% (H29)	-
		機器導入件数〔累計〕	24件	24件	24件
3-1-4	生駒の魅力発信プロジェクト	生駒市に住んでいることに誇りを持っている人の割合	61.5%	60.9%	57.4%
		生駒市への居住を人に薦めたい人の割合	53.3%	52.7%	61.3%
3-2-1	子育て・教育環境の良さを効果的に発信	PRサイトユニークユーザー数	2,500人	2,500人	16,337人
		子育て層の転入者数	1,238人	1,228人	859人

加速化交付金 ※各個票に【加速化対象】と表示		KPI	目標値		現状値
			R1	H30	H30
1-2-4	ママのプロボノ活動促進事業	ママのプロボノ活動に参加するプロボノワーカーの延べ人数	80人	60人	25人
2-1-1	テレワークの推進	テレワーク導入件数	2社	2社	2社
2-3-2	起業者を支援する体制づくり及び情報発信	女性の創業支援対象者数	16人	-	17人
	起業支援スペース等の整備	女性の起業支援スペース延べ利用件数	3件	-	78件

推進交付金 ※各個票に【推進対象】と表示		KPI	目標値		現状値
			R1	H30	H30
2-1-1	テレワークの推進	テレワーク導入件数	2社	2社	2社
2-3-2	起業支援スペース等の整備	女性の起業支援スペース延べ利用件数	2件	2件	63件
		本事業への参画による女性就労者延べ人数	-	22人	6人

3 平成30年度施策の進捗状況検証結果 個票

基本目標 1 子育てしやすいまち

目指す将来像	多様な保育サービスの利用や、コミュニティの中での支えあい、さらには費用面での支援により、子育て層が希望の子ども数を持って、ゆとりを持って生活(子育て)している。																
数値目標	子育て層の住みやすさの満足度(市民満足度調査) (H26・H28は本調査、H27・H29・H30はweb調査)																
現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	4.8点	<table border="1"> <caption>子育て層の住みやすさの満足度(点)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度(点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>4.87</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4.95</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>5.3</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5.52</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>5.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度(点)	H26	4.8	H27	4.87	H28	4.95	H29	5.3	H30	5.52	R1	5.0
年度	満足度(点)																
H26	4.8																
H27	4.87																
H28	4.95																
H29	5.3																
H30	5.52																
R1	5.0																
目標値	R1年度	5.0点															
実績値	H30年度	5.52点															
数値目標	子育て層の定住意向「ずっと住み続けたい」の割合(市民満足度調査) (H26・H28は本調査、H27・H29・H30はweb調査)																
現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	52.8%	<table border="1"> <caption>子育て層の定住意向「ずっと住み続けたい」の割合(%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>52.8</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>43.0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>52.1</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>55.1</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>58.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合(%)	H26	52.8	H27	43.0	H28	52.1	H29	50.0	H30	55.1	R1	58.0
年度	割合(%)																
H26	52.8																
H27	43.0																
H28	52.1																
H29	50.0																
H30	55.1																
R1	58.0																
目標値	R1年度	58.0%															
実績値	H30年度	55.1%															
基本目標への 実現への効果	<p>目指す将来像の実現に寄与したH30年度の実績として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業主導型保育事業の推進に向けた働きかけ ・地域子育て支援拠点事業を新たに1園で開始 ・南地区で「おでかけみつき」を開催 ・マタニティコンシェルジュによる相談事業などが挙げられる。 <p>これらの取組が、子育て層の住みやすさの満足度、定住意向の向上に寄与したものと考えられる。一方で、保育ニーズの高まりにより、待機児童はさらに増加しており、新たな小規模保育所等の開園に向けて取り組むとともに、企業に対して、企業主導型保育事業の推進に向けた働きかけを行い、待機児童解消に向けて取り組む必要がある。今後、さらなる保育サービスの充実に向けて検討を進めるとともに、既存事業の効果的な情報発信により、サポートを必要としている人に手を差し伸べられるよう取り組んでいきたい。</p>																

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-1 子育て層の時間的なゆとりをつくる

1-1-1 保育園の新設・機能強化

具体的な施策	施策名	保育所の整備																														
	施策内容	増加する保育需要に対応するため、待機児童の多い地域を中心にその解消等に向けた保育所の整備を行います。また、地域型保育事業の積極的な展開を進めます。																														
	取組状況 (H30 年度)	①増加する保育需要に対して即応性が期待できる小規模保育所の開園に向けた補助金の交付等準備を行った。 ②地域型保育事業の積極的な展開を進めるべく、企業に対して、企業主導型保育事業の推進に向けた働きかけを広く行った。																														
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 小規模保育所の開園（1園）に向けた準備がほぼ整ったことから、待機児童の解消に向けて前進したところだが、今後も新たな開園に当たっては、その用地の確保や3歳児の受入れのための連携施設の不足が危惧されるところである。 [R1年度の取組予定] 中保育園の厨房施設を増築したことに伴い、既存の給食調理室(厨房室)を保育室として整備し、待機児童解消を進める。																														
主担当課		こども課																														
重要業績評価指標 KPI	指標名	保育所待機児童数																														
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	68 人	<table border="1"> <caption>保育所待機児童数推移 (推定)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>単純待機</th> <th>実質待機</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>68</td> <td>30</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>54</td> <td>37</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>58</td> <td>46</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>102</td> <td>63</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>121</td> <td>77</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	単純待機	実質待機	目指す値	H26	68	30	10	H27	54	37	10	H28	58	46	10	H29	102	63	0	H30	121	77	0	R1	0	0	0
	年度	単純待機	実質待機		目指す値																											
	H26	68	30		10																											
H27	54	37	10																													
H28	58	46	10																													
H29	102	63	0																													
H30	121	77	0																													
R1	0	0	0																													
目標値	R1 年度	0 人																														
実績値	H30 年度	121 人																														

単純待機:待機児童総数

実質待機:単純待機から私的理由による待機者を除く児童数

具体的な施策	施策名	一時預かり保育等保育サービスの充実																							
	施策内容	保育所において、延長保育や一時預かり保育、休日保育、病児・病後児保育等を実施します。さらに、保育サービスの充実に向けた検討を行います。																							
	取組状況 (H30年度)	公立保育所 4園、私立保育所等 21園のうち、 延長保育：公立 4園、私立 15園、地域型保育事業所 5園で実施 一時預かり保育：公立 2園、私立 8園で実施 休日保育：私立 1園で実施 病児保育：私立 1園で実施 病後児保育：私立 1園で実施 病後児保育（体調不良児対応型）：公立 4園、私立 7園で実施 地域子育て支援拠点事業：私立 6園で実施																							
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 地域子育て支援拠点事業を新たに開始した私立保育所があり、さらに保育サービスが充実した。 [R1年度の取組予定] 利用者数の増加がみられない休日保育、病児保育については、引き続き保護者への広報、周知を図る。																							
主担当課		こども課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	一時預かり保育の延べ利用児童数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	6,610人	<table border="1"> <caption>一時預かり保育の延べ利用児童数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>6,610</td> <td>6,700</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>6,749</td> <td>6,800</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>11,401</td> <td>6,900</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>9,058</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>9,742</td> <td>7,100</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>7,200</td> <td>7,200</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目標値	H26	6,610	6,700	H27	6,749	6,800	H28	11,401	6,900	H29	9,058	7,000	H30	9,742	7,100	R1	7,200	7,200
	年度	現状値	目標値																						
	H26	6,610	6,700																						
H27	6,749	6,800																							
H28	11,401	6,900																							
H29	9,058	7,000																							
H30	9,742	7,100																							
R1	7,200	7,200																							
目標値	R1年度	7,200人																							
実績値	H30年度	9,742人																							

具体的な施策	施策名	私立保育所の保育環境改善事業【先行型対象】		
	施策内容	私立保育所において、保育ニーズに応じた利用しやすいサービスが提供されるよう、事業者に対する働きかけや支援を行います。		
	取組状況 (H30 年度)	私立保育所に対して、民間保育園備品充実費補助金を交付し、保育サービスの充実を図った。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点] 園児数に応じた補助金を交付し、保育に必要な備品を購入することによって保育サービスを充実させることができた。</p> <p>[R1 年度の取組予定] 市として、私立保育所に対して、民間保育園備品充実費補助金を引き続き適正に交付する。</p>		
主担当課		こども課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	改修後保育所入所児童数 / 改修前保育所入所児童数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	100%	
	目標値	R1 年度	105%	
	実績値	H30 年度	114%	

補助指標	H29 満足度調査における保育施設・サービスに対する満足度※1 (うち、私立保育所に通わせている親の満足度※2)	
実績値	保育施設	保育サービス
	58.3 点 (66.0 点)	53.7 点 (65.0 点)
(参考)	H27 満足度調査時における保育施設・サービスに対する満足度※1	
	保育施設	保育サービス
	54.6 点	49.5 点

※1 市民満足度調査による保育施設、サービスに関する満足度を 100 点満点 (満足 100 点、やや満足 75 点、普通 50 点、やや不満 25 点、不満 0 点) で評価したもの。※2 子どもを私立保育所に通わせている回答者の平均値

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童対策については、年々増加し、目標値から乖離している。要因を分析し改善に繋げるとともに、幼保無償化の影響を見据え、必要な取組を実施されたい。 ・一時預かり保育等保育サービスが充実してきており、評価できる。
	2	3	2	1			

【評価基準】 A:高い成果が得られた B:予定通りの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> ・今後ますます保育ニーズが増加すると予想されるので、引き続きニーズに対応できるよう取り組まされたい。
------------------------	--

○評価結果

B：予定通りの成果が得られた

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-1 子育て層の時間的なゆとりをつくる

1-1-2 幼稚園の保育機能の充実

具体的な施策	施策名	幼稚園での預かり保育の実施																
	施策内容	多様な保育需要に対応するため、市立幼稚園における長時間預かり保育を行います。																
	取組状況 (H30 年度)	市立幼稚園 9 園全園において短時間（午後 2 時から午後 4 時まで）預かり保育を実施するとともに、生駒幼稚園及び南幼稚園では、午前 7 時 30 分から午前 8 時 30 分まで 午後 2 時から午後 6 時 30 分まで の長時間預かり保育を実施した。																
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>市立幼稚園全園で短時間預かり保育を、2 園で長時間預かり保育を実施し、保護者の多様なニーズに応えることに努めた。</p> <p>その一方、実施に当たっては、職員の勤務体制の確保や保護者の送迎用駐車場の確保が難しい状況にある。</p> <p>[R1 年度の取組予定]</p> <p>桜ヶ丘幼稚園において、月～金曜日午後 5 時までの預かり保育（他園は午後 4 時まで）をモデル的に実施する。</p>																
主担当課		こども課																
重要業績評価指標 KPI	指標名	長時間預かり保育実施園数																
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	1 園	<table border="1"> <caption>長時間預かり保育実施園数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施園数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実施園数	H26	1	H27	1	H28	2	H29	2	H30	2	R1	3
	年度	実施園数																
	H26	1																
H27	1																	
H28	2																	
H29	2																	
H30	2																	
R1	3																	
目標値	R1 年度	3 園																
実績値	H30 年度	2 園																

具体的な施策	施策名	幼稚園における幼保一体化の支援（幼稚園への保育機能の強化）																							
	施策内容	幼稚園において、多様化する保育ニーズに対応した保育機能を充実するため、認定こども園の整備を行うとともに、幼稚園と保育園、学校と連携した就学前教育に取り組みます。																							
	取組状況（H30年度）	認定こども園生駒幼稚園の2号認定児の受け入れを定員の2割増で受け入れた。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>1号認定児保護者のフルタイム就労支援のため、長時間預かり保育を2園で実施し、保護者のニーズに応えることに努めた。</p> <p>1号から2号への認定替えの希望者が増えてきており、こども園内での認定替えが難しい。</p> <p>[R1年度の取組予定]</p> <p>「学校教育のあり方検討委員会 就学前教育・保育部会」において、幼稚園の認定こども園化を視野に入れた、就学前教育のあり方について検討を行う。</p>																							
主担当課		こども課																							
KPI 重要業績評価指標	指標名	幼稚園と小中学校との連携事業数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	103件	<table border="1"> <caption>連携事業数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>103</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>105</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>108</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>117</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>125</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>118</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目標値	H26	103	92	H27	105	98	H28	108	103	H29	117	108	H30	125	113	R1	-	118
	年度	現状値	目標値																						
	H26	103	92																						
H27	105	98																							
H28	108	103																							
H29	117	108																							
H30	125	113																							
R1	-	118																							
目標値	R1年度	118件																							
実績値	H30年度	125件																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成30年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 長時間預かり保育実施園数は、昨年度から大きな進展が見られない。 幼稚園と小中学校との連携事業数は順調に増加しており評価できる。
	1	5	2				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	・市内全域で同レベルの保育サービスを受けられるよう整備を進められたい。
----------------	-------------------------------------

○評価結果

B：予定どおりの成果が得られた

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-1 子育て層の時間的なゆとりをつくる

1-1-3 病児保育機能の強化

具体的な施策	施策名	病児保育等、病院への育児機能の導入		
	施策内容	市立病院等における病児保育サービスを拡充します。		
	取組状況 (H30 年度)	これまでから病院における病児保育サービスの導入について検討を行ってきたが、その拡充には至っておらず、現状の 1 機関における取組（阪奈中央こぐま園での病児保育）にとどまっている。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> 病児保育に係る意見聴取やニーズの把握が不十分であった。 <p>[R1 年度の取組予定]</p> 周知方法を再度確認し、より効果的な情報の提供に努める。		
主担当課		こども課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	病児保育設置件数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	1 件	
	目標値	R1 年度	2 件	
	実績値	H30 年度	1 件	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	・取組状況にあまり進展が見られない。
		2	1	4	1		

[評価基準] A: 高い成果が得られた B: 予定どおりの成果が得られた C: 一定の成果が得られた
D: やや不十分な成果にとどまった E: 成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	・病児保育・病後時保育ともに、広報が不十分だと感じる。周知が行き渡るよう、効果的な広報を実施されたい。 ・改善していない理由を明示するべき。
----------------	---

○評価結果

D : やや不十分な成果にとどまった

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる

1-2-1 子育て層を応援する情報提供の推進

具体的な施策	施策名	子育て層向けの情報発信
	施策内容	妊娠・出産・子育てに関する知識・技能を修得するための講座開催とともに、乳幼児の予防接種や定期健診等のスケジュール、子育て層が訪れやすい店舗や交流機会など、IT を利用した多様な情報の発信に取り組みます。
	取組状況 (H30 年度)	<p>【子育て支援総合センター】</p> ひろば事業やペアレント講座について年間計画どおりすべて開催した。講座等の情報発信については従来のホームページや広報紙と電子版親子手帳での発信に加え、ツイッターでの案内や開催の報告などを行った。子育て世代のニーズを把握するため、就園前の子育て支援に関するワークショップを実施した。 <p>【健康課】</p> パパママ教室（3 回コース）を年間 6 回、パパ講座を 9 回、離乳食講習会を 12 回、おやこ広場（2 回コース）を 6 回開催し、妊娠・出産・育児に必要な情報の提供を行った。また、予防接種は、市公式ホームページに常時掲載して情報提供を行い、乳幼児健診については対象者に個別通知するなど、必要な取り組みを全て行った。 <p>【いこまの魅力創造課】</p> 市が公開しているオープンデータを活用した、カレンダー形式で市内イベント情報・給食献立等を管理できる「生駒市カレンダー」の運用継続を促進した。また、パパ講座（健康課）等の講座申込みを担う、汎用受付システム（e 古都なら）の自治体管理者を務め、継続的なサービス提供に寄与した。 <p>【こども課】</p> 前年度から引き続き、保育所や幼稚園における園庭開放に伴う情報を公開した。

	<p>取組状況に についての課題 等</p>	<p>【子育て支援総合センター】 [良かった点・悪かった点] ワークショップの実施により、保護者や地域住民等のニーズを知ることができた。一方で、情報発信をしても必要な人に必要な情報が届いていないという課題も知った。 [R1 年度の取組予定] ワークショップでの実施で得た、新たなニーズを施策に反映する。</p> <p>【健康課】 [良かった点・悪かった点] パパママ教室を隔月開催にすることで、1 回当たりの参加者数が増加し、近隣に居住する人たちでグループを作り、有意義な交流会を行うことができた。参加者からは、おおむね満足の評価が得られた。一方で、参加できる機会が減り、産休に入ってから受講される人は予定日間近になってしまう場合もあった。 [R1 年度の取組予定] パパママ教室の一部日程を土日開催とする。また、パパ講座の 2 回を平日開催とする。 (理由) 働く女性が増えており、市民から土日開催の要望が多数あったため、パパママ教室において一部土日開催を実施する。また、土日に働く方もおられるため、より多くの方に参加してもらえよう、パパ講座は一部平日に実施する。</p> <p>【いこまの魅力創造課】 [良かった点・悪かった点] オープンデータを活用したサービスの継続を促すことで、市の財政的な負担なく市民向けサービスを提供し続けることが出来た。 [R1 年度の取組予定] 引き続き、各種ニーズを精査しながら、子育て層向けの情報発信に寄与するオープンデータ施策を推進する。</p> <p>【こども課】 [良かった点・悪かった点] 5 月以降各月における保育所入所に伴う空き状況の公開に向けて、H30 年度も様々な観点から検討したが、空き状況は日々変動しており、公開に伴う混乱を招くおそれがあることから、市ホームページでの随時の公開には踏み切れず、一定の時期における情報の更新にとどまった。 [R1 年度の取組予定] 保護者の子育て支援に効果的であると考えられる保育所や幼稚園における情報の積極的な公開に向けて引き続き取り組む。 保育所選びや子育てに関する様々なサービスについて、各家庭の状況や希望にそって情報を提供し、きめ細やかな相談を受ける窓口として保育コンシェルジュを設置する。</p>
--	--	---

主担当課		子育て支援総合センター・健康課・いこまの魅力創造課・こども課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	市ホームページの子育て関連ページへのアクセス件数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	24,000 件	
	目標値	R1 年度	26,400 件	
	実績値	H30 年度	35,343 件	

具体的な施策	施策名	赤ちゃんの駅普及啓発事業【先行型対象】		
	施策内容	乳幼児とともに安心して外出できるよう、公共施設や商業施設において、オムツ替えや授乳が出来るスペース「赤ちゃんの駅」の設置を促進します。また、子育て層が子ども連れで安心して利用できる店舗や施設であることを登録し、発信します。		
	取組状況 (H30 年度)	新たに 5 箇所を登録し、環境整備の向上を図るとともに、「赤ちゃんの駅」として登録した施設は市ホームページなどに掲載し、市民周知を行った。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>幼稚園・保育園の合併等により、目標数値は達成できなかったが、年度内に新規 5 件の登録をおこなった。</p> <p>[R1 年度の取組予定]</p> <p>目標登録数 65 箇所</p>		
主担当課		子育て支援総合センター		
重要業績評価指標 KPI	指標名	赤ちゃんの駅（モデルスペース）利用者数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	
	目標値	R1 年度	180 人	
	実績値	H30 年度	927 人	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・パパママ教室の参加者が増えるよう工夫されているなど、評価できる。 ・両指標ともに、高い水準を維持している。
	3	4	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の取組欄には、残した課題に対して、どのようにアプローチするのかを記載されたい。
------------------------	---

○評価結果

B : 予定どおりの成果が得られた

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる

1-2-2 子育て層の交流促進

具体的な施策	施策名	子育てサークルの支援		
	施策内容	子育て層の孤立を防ぐため、子育て支援総合センターを中心とした子育て相談や育児教室の開催、子育てサークルによる活動の拡大等、子育て層同士の学び・交流の機会を充実します。		
	取組状況 (H30 年度)	昨年に開催した北地区の「はばたきみつき」に加え、南地区で小平尾南児童館と共同で「おでかけみつき」を月1回開所し、市内全地域に渡って遊びや仲間づくりのしやすい環境を整えた。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>他の拠点事業の支援員との交流会を実施し、情報共有や拠点の体制作りを整えた。拠点事業をきっかけに、地域での子育て世代のつながりができ、子育てサークルの活動の後押しができた。</p> <p>[R1 年度取組予定]</p> <p>引き続き内容の充実を図り、子育て層の支援を行う。</p>		
主担当課		子育て支援総合センター		
重要業績評価指標 KPI	指標名	地域子育て支援拠点の利用者数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	29,630 件	
	目標値	R1 年度	31,000 件	
	実績値	H30 年度	42,406 件	

具体的な施策	施策名	パパのための子育てイベントの開催																							
	施策内容	男性の育児への積極的な参加を促すため、保育園や幼稚園、学校等と連携し、父親が主体となった子育て交流イベントを開催します。																							
	取組状況 (H30年度)	<p>パパセミナーを3期開催（1期：4クール）。</p> <p>パパと子どものみで参加するパパひろばを毎月開催し、父親が子どもと出かけやすい環境を設定。</p> <p>平日夜に「父親向けトリプルP」を開催するとともに、日曜日に「父親向けトリプルPセミナー」を開催し、父親の子育て支援の講座を充実させた。</p>																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>父親同士の交流ができた。また、みっきランドを利用する父親と子どもが増加した。</p> <p>[R1年度の取組予定]</p> <p>多くの父親が参加しやすいよう、講座の内容を一部変更し、日曜日に開催予定。</p>																							
主担当課		子育て支援総合センター																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	子育てイベントへの男性の参加者数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>子育てイベントへの男性の参加者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>26</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>17</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>151</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>203</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	0	0	H27	26	26	H28	17	17	H29	151	18	H30	203	24	R1	-	30
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	0	0																						
H27	26	26																							
H28	17	17																							
H29	151	18																							
H30	203	24																							
R1	-	30																							
目標値	R1年度	30人																							
実績値	H30年度	203人																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成30年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・おでかけみっきの定期開催等により、利用者数は目標値を大幅に上回っており、評価できる。 ・働く女性が増える社会において、講座に参加されるパパが増えていることは、非常に素晴らしいこと。
	7		1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	<ul style="list-style-type: none"> ・高い成果が得られた理由を把握し、今後の取組に繋げられたい。 ・取組内容が子育てサークルの支援に繋がっていない。 ・男性が自然に育児に関わっている家庭が増えてきているように感じる。
----------------	--

○評価結果

A : 高い成果が得られた

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる

1-2-3 地域で子育てを見守る体制の強化

具体的な施策	施策名	地域・行政・周囲のひとによる子育ての見守り強化
	施策内容	乳幼児を持つ家庭への訪問による見守り、虐待等の未然防止に努めるとともに、家庭、保育機関、学校、地域等が連携して子どもの人権や安全を守る意識を育てます。
	取組状況 (H30 年度)	<p>【子育て支援総合センター】 市内幼稚園・保育園の園児、教師、保護者を対象に CAP（子どもへの暴力防止）こどもワークショップ、おとな（教職員、保護者対象）ワークショップを実施（5回）した。</p> <p>【健康課】 マタニティコンシェルジュが、妊娠期から関わりのある産婦等に電話などで状況確認し、アドバイスを行った。また、マタニティコンシェルジュへの相談件数も増え、（H29:延べ 156 件、実 115 件、H30:延べ 197 件、実 170 件）身近な相談先として周知されつつある。 こんにちは赤ちゃん訪問事業により対象者の 98.7%を訪問し、育児の支援および家庭の状況確認を行った。</p>
	取組状況についての課題等	<p>【子育て支援総合センター】 [良かった点・悪かった点] 「子どもの目線になることができ、とてもわかりやすかった。」、「分かりやすい言葉を使って、子どもに問いかけながら進めていたのが良かった。」との感想をいただいた。より多くの人に参加をすすめていく。</p> <p>[R1 年度取組予定] 昨年同様市内幼稚園・保育園の園児、教師、保護者を対象に CAP（子どもへの暴力防止）こどもワークショップ、おとなワークショップを実施（7回）予定。</p> <p>【健康課】 [良かった点・悪かった点] 地区担当保健師とマタニティコンシェルジュが、必要時には医療機関との連携を行い、妊娠期からの継続的な支援が行えるようになり、妊娠期から子育て期の支援が充実した。今後もマタニティコンシェルジュを配置したことによる効果を継続して検証していく必要がある。</p>

		<p>[R1 年度の取組予定]</p> <p>出産後早期から適切な支援が行えるよう、新生児訪問やこんにちは赤ちゃん訪問事業、「ママとベビーのおっぱい相談会」、マタニティコンシェルジュや地区担当保健師による個別相談を引き続き周知していく。</p> <p>若年妊婦や未婚など、見守りが必要な妊婦や、産前産後のサポートに不安がある家庭に対し、安心して子育てが行えるよう産後ケア事業をはじめとした様々な支援を引き続き周知・活用する。</p>																							
	主担当課	子育て支援総合センター・健康課																							
K P I 重要業績評価指標	指標名	新生児・乳児訪問の実施率（件数）																							
	現状値 （総合戦略策定時）	H26 年度	96.7%	<table border="1"> <caption>新生児・乳児訪問の実施率（件数）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>96.7</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>96.2</td> <td>97.4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>97.6</td> <td>98.7</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>99.1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>98.7</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目標値	H26	96.7	100	H27	96.2	97.4	H28	97.6	98.7	H29	99.1	100	H30	98.7	100	R1	100	100
	年度	現状値	目標値																						
	H26	96.7	100																						
	H27	96.2	97.4																						
	H28	97.6	98.7																						
H29	99.1	100																							
H30	98.7	100																							
R1	100	100																							
目標値	R1 年度	100%																							
実績値	H30 年度	98.7%	(820 件/831 件)																						
指標名	CAP 講習会の開催 [累計]																								
現状値 （総合戦略策定時）	H26 年度	***	<table border="1"> <caption>CAP 講習会の開催 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>10</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>15</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>15</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目標値	H26	0	0	H27	1	2	H28	4	4	H29	10	6	H30	15	8	R1	15	10	
年度	現状値	目標値																							
H26	0	0																							
H27	1	2																							
H28	4	4																							
H29	10	6																							
H30	15	8																							
R1	15	10																							
目標値	R1 年度	10 件																							
実績値	H30 年度	15 件																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・マタニティコンシェルジュの相談事業が定着しつつある など、評価できる。
	5	3					

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児・乳児訪問の実施率については、未実施の要因分析を行ったうえで、100%を目指して取り組まれない。 ・高い成果が得られた理由を把握し、今後の取組に繋げられたい。
------------------------	--

○評価結果

A : 高い成果が得られた

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる

1-2-4 地域活動への参加機会の創出

具体的な施策	施策名	ママのプロボノ活動促進事業【加速化対象】																							
	施策内容	結婚や出産を機に退職した後、再就職を目指す女性や育児休業中の女性が、仕事で培った経験やスキルを活かしてプロボノ活動に参加することで、NPOの組織運営を支援するとともに、女性が社会貢献できる場を創出し、育児休業後のスムーズな職場復帰のサポートや再就職に向けたウォーミングアップに取り組みます。																							
	取組状況 (H30年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度、H29年度と2回開催し、参加希望する団体があまりないことや、プロボノ活動を行う女性も連続で参加される方もいなかったため、実施を見送った。 ・過去に参加されたママボノワーカーを対象に同窓会を企画したものの、日程が合わず開催はできなかった。 ・ママボノワーカーや、NPO活動を行っている女性に対してヒアリングを行い、現状やニーズの汲み取りを行った。 																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ママボノワーカーからは「事業を行った後に再就職をした」「個人事業主として事業を展開し、ネットワーク形成につながった」「市民活動を行っている」といった声があった。 ・事業の開催時期、市内NPOの課題など、ママが参加するにあたり、その条件が限定されているため、参加者が増えづらい。 <p>[R1年度の取組予定]</p> <p>市内でNPO活動を行い、市内のママ達のネットワークを十分持っている女性が、参加自由度の高いマッチングを始めようとしているため、生駒市主催としてのママのプロボノ活動促進事業は開催を見送る。個人ボランティア登録制度を活用したプロボノ活動へのコーディネートの実施を検討。また、「子育て世代の再就職支援事業」（商工観光課）もH30年度から継続実施する予定。</p>																							
主担当課		市民活動推進センター																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	プロボノワーカーの延べ人数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>プロボノワーカーの延べ人数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>15</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>25</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>25</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>-</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26年度	0	0	H27年度	0	0	H28年度	15	20	H29年度	25	40	H30年度	25	60	R1年度	-	80
	年度	現状値	目指す値																						
	H26年度	0	0																						
H27年度	0	0																							
H28年度	15	20																							
H29年度	25	40																							
H30年度	25	60																							
R1年度	-	80																							
目標値	R1年度	80人																							
実績値	H30年度	25人																							

具体的な施策	施策名	新規NPOの立ち上げ支援																							
	施策内容	子育て層の社会参加の意欲を喚起し、地域社会の課題解決につながる活動に取り組もうとする新たなNPOの立ち上げに向けた支援や、活動推進に向けた基礎知識の習得、及びマネジメント等に向けた支援を行います。																							
	取組状況 (H30年度)	立ち上げ支援として、DIY ボランティア、写真ボランティアという2つの活動をテーマとした講座の開催（延べ62人参加）や、組織力向上のための資金調達、活動広報をテーマとした2講座を開催（60人参加）した。 このほか、ボランティア相談業務、情報提供やコーディネート業務などを行い、活動内容の充実に向けて支援を行なった。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>テーマを絞ったことや、活動の必要性に共感を得られたことにより、講座受講生を中心として、1団体が立ち上げ準備を行っており、その支援を継続している。</p> <p>[R1年度の取組予定]</p> <p>引き続き、市民ニーズにあったNPO立ち上げ支援に繋がる講座やコーディネート業務を実施。NPOの活動支援として、伴走型の支援を行っていく。</p>																							
主担当課		市民活動推進センター																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	市民活動推進センターららポート登録団体数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	69団体	<table border="1"> <caption>市民活動推進センターららポート登録団体数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>69</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>71</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>81</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>93</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>92</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	69	75	H27	71	80	H28	81	85	H29	93	90	H30	92	90	R1	-	95
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	69	75																						
H27	71	80																							
H28	81	85																							
H29	93	90																							
H30	92	90																							
R1	-	95																							
目標値	R1年度	95団体																							
実績値	H30年度	92団体																							

具体的な施策	施策名	NPOの広報活動の支援																							
	施策内容	子育てしながら、地域社会とのつながりを持った活動への参加を促進するため、ららポート登録団体の活動内容のPRや、子育て層が気軽に参加できる団体実施事業の広報支援を行います。																							
	取組状況 (H30年度)	ららポート登録団体、マイサポ事業の広報いこまち掲載件数…64件、Twitter…170tweet、ららだより…1,000部×4回 登録団体の活動PRを目的とした協働事業「らら♪まつり」では、会場を子育て層が来場しやすい公共施設へ変更し、市内小学校吹奏楽や市民吹奏楽団との協働や子どもが楽しめるプログラムも増やすなどして、過去最高の1,200人が来場した。 ららポート登録団体の紹介冊子を誰もが見やすくなるようリニューアルし、H31年4月に完成。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点] 様々な媒体（広報紙、市ホームページ、SNS等）でPRするとともに、自治会や学童保育所などに団体が提供できるプログラムの紹介を行った結果、「参加者や活動依頼が増えた」といった声が団体からあった。 一方で、団体構成員の増加には繋がりにくいという課題がある。</p> <p>[R1年度の取組予定] リニューアルした団体紹介冊子を活用し、市民への啓発を含め、引き続き各媒体を用いて情報を発信していく。</p>																							
主担当課		市民活動推進センター																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	市民活動推進センターららポート登録団体数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	69団体	<table border="1"> <caption>現状値と目指す値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>69</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>71</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>81</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>93</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>92</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>95</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	69	75	H27	71	80	H28	81	85	H29	93	90	H30	92	90	R1	95	95
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	69	75																						
H27	71	80																							
H28	81	85																							
H29	93	90																							
H30	92	90																							
R1	95	95																							
目標値	R1年度	95団体																							
実績値	H30年度	92団体																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	(特段の意見なし。)
	1	6	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチングを行う市民に対して、市も伴走して支援されたい。 ・ママボノの参加者が増えない理由を把握し、市民活動、産業振興、男女共同参画など様々な角度から、事業のあり方を検証されたい。 ・プロボノ自体がまだ浸透しておらず、ママに限定することにより、さらにハードルがあがっているように感じる。 ・プロボノのプラットフォームを作っていくことは大切である。
------------------------	---

○評価結果

B : 予定どおりの成果が得られた

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-3 良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる

1-3-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上

具体的な施策	施策名	公共施設の耐震化																							
	施策内容	耐震診断に基づく市庁舎の適切な耐震化の実施や、防災拠点における資機材整備を進めます。																							
	取組状況 (H30年度)	災害時の拠点となる公共施設の耐震化については H28 年で事業が終了している。 指定避難所のうち防災倉庫（コンテナ）が設置されていない避難所に避難の際に必要な資機材等の備蓄品（毛布、発電機、投光器、カセットコンロ、鍋等）を順次充実させる事業を開始した。 初年度は 1 施設：生駒小学校																							
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 防災倉庫の設置の有無で避難所の整備状況に差が生じているが、段階的に備蓄品の整備を進めていく。 [R1 年度の取組予定] R1 年度以降は順次 2 施設ずつ防災倉庫の設置、資機材、備蓄品の配備を行っていく。																							
主担当課		防災安全課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	避難施設の耐震化率																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	97.2%	<table border="1"> <caption>避難施設の耐震化率推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値 (%)</th> <th>目指す値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>97.2</td> <td>94.4</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>97.2</td> <td>94.4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>100</td> <td>94.4</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>100</td> <td>97.2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値 (%)	目指す値 (%)	H26	97.2	94.4	H27	97.2	94.4	H28	100	94.4	H29	100	97.2	H30	100	100	R1	100	100
	年度	現状値 (%)	目指す値 (%)																						
	H26	97.2	94.4																						
H27	97.2	94.4																							
H28	100	94.4																							
H29	100	97.2																							
H30	100	100																							
R1	100	100																							
目標値	R1 年度	100%																							
実績値	H30 年度	100%																							
具体的な施策	施策名	乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄【先行型対象】																							
	施策内容	乳幼児を持つ世帯を対象に、身の回りの安全チェックや災害発生時の行動等の防災知識の普及啓発を行うとともに、乳幼児用の防災用品を備蓄します。																							

	取組状況 (H30年度)	<p>すべての指定避難所に乳幼児用ベッド、室内用テント（更衣室・授乳室）を配備する事業はH29年度で終了し配備が完了した。</p> <p>自主防災会等で行う防災訓練で室内用テントの設置訓練を行い、備蓄品の周知と効果的な利用方法の啓発を行った。</p> <p>また、子育て支援総合センターで行う乳幼児を持つ世帯向け防災講座、健康課が行うパパママ講座、おやこ広場での防災講座を実施した。</p>		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>室内用テントの設置訓練では、組み立てだけではなく、設置する場所や方向等についても避難生活を想像し、考える必要がある。</p> <p>[R1年度の取組予定]</p> <p>防災訓練での備蓄品の啓発。</p> <p>乳幼児を持つ世帯向けのパンフレットを妊娠の届出時に配布を行うとともに防災訓練や講座に活用していく。</p>		
	主担当課	防災安全課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	防災訓練等での当該備蓄品の活用回数（年間）		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	R1年度	4回	
	実績値	H30年度	4回	
	指標名	乳幼児を持つ世帯向け防災パンフレットの延べ配布数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	R1年度	5,000部	
	実績値	H30年度	6,750部	
	指標名	子育て層の定住意向「ずっと住み続けたい」の割合 (H26・H28は本調査、H27・H29・H30はweb調査)		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	52.8%	
	目標値	R1年度	58.0%	
	実績値	H30年度	55.1%	

具体的な施策	施策名	自主防災会の活動支援・促進																							
	施策内容	自主防災活動を活性化するため、自主防災会の結成を促し、事業者等の複数団体等との連携による防災訓練の実施や、市民団体等への防災訓練の支援を行います。																							
	取組状況 (H30年度)	H30年度は2団体が新たに自主防災会を結成し、105団体（結成率98.2%）となった。 複数の地区が合同で行う防災訓練の実施については、自主防災会未結成の地区にも参加を促し、結成促進に努めた。 また、市民団体が行う防災訓練や防災イベントについても支援を行った。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>自主防災会の組織率は高いが、「自主的に」活動している団体は数えるほどである。今後は、職員派遣、物資の提供に加えて、「自助」という面を強調して啓発して行きたい。</p> <p>[R1年度の取組予定]</p> <p>H30年度の取り組みを継続して取り組んで行きたい。</p>																							
主担当課		防災安全課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	自主防災組織の組織率																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	94.5%	<table border="1"> <caption>自主防災組織の組織率推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>94.5</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>96.2</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>97.3</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>97.3</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>98.2</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目標値	H26	94.5	100	H27	96.2	100	H28	97.3	100	H29	97.3	100	H30	98.2	100	R1	100	100
	年度	現状値	目標値																						
	H26	94.5	100																						
H27	96.2	100																							
H28	97.3	100																							
H29	97.3	100																							
H30	98.2	100																							
R1	100	100																							
目標値	R1年度	100%																							
実績値	H30年度	98.2%																							

具体的な施策	施策名	自主防犯活動支援・促進		
	施策内容	犯罪の起こりにくい明るいまちづくり実現のため、自主防犯意識の高揚や防犯ネットワークの構築の推進など、地域による自主防犯活動を支援します。		
	取組状況 (H30年度)	<p>自主防犯意識の高揚の一助として、自治会内での防犯カメラ設置に対して補助を行うとともに、防犯活動用品の貸出等を行うなど自治会の自主防犯活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラの設置補助実施自治会 3自治会 防犯活動用品貸出団体数 72団体 		

	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>防犯カメラの設置を通じて自治会内の防犯意識の醸成に繋がっており、地域における犯罪抑止効果が高まっている。複数の自治会から設置に関する相談があるが、設置後の運用面での懸念や住民の合意形成が課題となっている。</p> <p>[R1 年度の取組予定]</p> <p>3 自治会×上限 100 万円＝300 万円を予算計上</p>																							
	主担当課	防災安全課																							
K P I 重要業績評価指標	指標名	刑法犯罪発生件数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	605 件	<table border="1"> <caption>刑法犯罪発生件数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>発生件数</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>605</td> <td>580</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>557</td> <td>580</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>554</td> <td>580</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>560</td> <td>580</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>473</td> <td>580</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>580</td> <td>580</td> </tr> </tbody> </table>	年度	発生件数	目標値	H26	605	580	H27	557	580	H28	554	580	H29	560	580	H30	473	580	R1	580	580
	年度	発生件数	目標値																						
	H26	605	580																						
H27	557	580																							
H28	554	580																							
H29	560	580																							
H30	473	580																							
R1	580	580																							
目標値	R1 年	580 件																							
実績値	H30 年	473 件																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	・耐震化、資機材整備ともに進み、安全面が向上しており評価できる。
	2	5	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	・女性も含め、防災士の資格を取得する方が増えてきている。防災士が地域で活躍できるよう支援されたい。
----------------	---

○評価結果

B：予定どおりの評価が得られた

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-3 良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる

1-3-2 地球環境にやさしいエネルギー利用の推進

具体的な施策	施策名	再生可能エネルギー（太陽光発電等）の導入																							
	施策内容	官民連携のもと、市役所や市立病院等の公共施設を中心とした太陽光発電、蓄電池、コージェネレーションシステム等の導入に取り組むとともに、民間事業所等における再生可能エネルギーの導入促進に努めます。																							
	取組状況（H30年度）	○いこま市民パワー株式会社による公共施設への電力供給（61施設） ○いこま市民パワー株式会社による民間施設への電力供給（22施設） ○太陽光発電システム設置補助（交付件数76件、合計379.4kW） ○家庭用燃料電池（エネファーム）設置補助（交付件数222件） ○家庭用蓄電システム設置補助（交付件数43件）																							
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] ・民間事業者、市民団体、行政の共同出資による新電力会社「いこま市民パワー株式会社」の電力供給施設が大きく増加したことにより、官民連携で再生可能エネルギーの普及拡大に向けた基盤を整備することができた。 ・家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置補助件数は増加しているが、太陽光発電システム設置補助の交付件数は昨年から引き続き減少傾向にある。 [R1年度の取組予定] ・いこま市民パワー株式会社を核として、市内の再生可能エネルギー電源の新規獲得を図り、エネルギーの地産地消を推進する。																							
主担当課	環境モデル都市推進課																								
重要業績評価指標 KPI	指標名	太陽光発電システム設置基数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	2,700基	<table border="1"> <caption>太陽光発電システム設置基数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>2,700</td> <td>2,700</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2,900</td> <td>3,120</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>3,020</td> <td>3,610</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3,200</td> <td>4,100</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3,325</td> <td>4,650</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4,960</td> <td>4,960</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	2,700	2,700	H27	2,900	3,120	H28	3,020	3,610	H29	3,200	4,100	H30	3,325	4,650	R1	4,960	4,960
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	2,700	2,700																						
H27	2,900	3,120																							
H28	3,020	3,610																							
H29	3,200	4,100																							
H30	3,325	4,650																							
R1	4,960	4,960																							
目標値	R1年度	4,960基																							
実績値	H30年度	3,325基																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	(特段の意見なし。)
	2	1	5				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時等、大規模な太陽光発電設備によって、市民に危険が及ばないよう予防に努められたい。 ・引き続き、いこま市民パワー株式会社を軸に、再生可能エネルギー普及拡大に努められたい。 ・持続可能な暮らしが求められるまちづくりにおいて、再生可能エネルギーの確保は非常に重要である。
------------------------	--

○評価結果

C : 一定の成果が得られた

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-3 良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる

1-3-3 住宅供給の推進

具体的な施策	施策名	既存住宅の流通支援																							
	施策内容	既存住宅流通等促進奨励金交付制度を創設し、既存住宅の流通を支援します。																							
	取組状況 (H30年度)	既存住宅流通等促進奨励金交付件数 10件 計 3,000,000円 既存住宅流通等促進奨励金受給者対象アンケート (H27-H30) 回収数 28/30人																							
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 受給者に対するアンケート及びヒアリングにより、市が保有する情報だけでなく、中古住宅購入の動機や奨励金利用に至る経緯等を把握できた。 [R1年度の取組予定] 中古住宅を選択した方の属性・意向を把握するために、アンケート及びヒアリングを継続し、「空き家対策の担い手強化・連携モデル事業」の参考資料とする。また、PRサイト等で中古住宅活用事例を発信する際の候補とする。																							
主担当課		都市計画課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	既存住宅流通等促進奨励金交付件数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>既存住宅流通等促進奨励金交付件数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>10</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>30</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	0	0	H27	2	10	H28	10	20	H29	20	30	H30	30	40	R1	50	50
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	0	0																						
H27	2	10																							
H28	10	20																							
H29	20	30																							
H30	30	40																							
R1	50	50																							
目標値	R1年度	50件																							
実績値	H30年度	30件																							

具体的な施策	施策名	既存住宅の診断や改修に対する支援による流通促進
	施策内容	耐震改修やリフォーム、バリアフリー化に関する相談窓口等を設置するとともに、耐震診断・改修に対する支援を行うことにより、既存住宅の流通を促進します。
	取組状況 (H30年度)	<p>【都市計画課】 住宅相談：月1回実施 年24件 空き家相談：隔月1回実施 年16件 広報紙や市ホームページ、納税通知同封チラシ等による周知を実施</p> <p>【建築課】 補助金制度の周知について、広報紙や市ホームページを利用し、さらにNPOによる耐震に関するフォーラムを開催した。また窓口において、相談に来られた市民や不動産業者等への各種補助金についての詳細な説明等を行い、予定件数を上回る実績であった。</p>
	取組状況に ついての課題等	<p>【都市計画課】 [良かった点・悪かった点] 住宅相談については、必要に応じて建築課と連携して対応した。 空き家相談については、活用意向を持った所有者に対して「いこま空き家流通促進プラットフォーム」を紹介し、所有者同意のうえ同プラットフォームで対応した。</p> <p>[R1年度の取組予定] 住宅相談、空き家相談ともに予定件数に達しないものの、ほぼ毎月相談の予約や問い合わせはあるため、開催回数は変更せず実施する。</p> <p>【建築課】 [良かった点・悪かった点] フォーラム参加者や窓口にて相談を受けた市民の方が実際に補助金を利用されるケースが多く、補助制度の周知等が一定の効果を得られたと考える。</p> <p>[R1年度の取組予定] 耐震に関するフォーラムの開催や窓口において市民や不動産業者等への補助金制度の情報提供を継続して行い、さらなる周知を図り、市内の耐震化を促進する。</p>
主担当課	都市計画課・建築課	

重要業績評価指標 KPI	指標名	既存住宅耐震診断補助事業利用件数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	496 件	<table border="1"> <caption>既存住宅耐震診断補助事業利用件数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>496</td> <td>513</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>511</td> <td>543</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>528</td> <td>581</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>561</td> <td>615</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>600</td> <td>649</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>683</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目標値	H26	496	513	H27	511	543	H28	528	581	H29	561	615	H30	600	649	R1	-	683
	年度	現状値	目標値																						
	H26	496	513																						
	H27	511	543																						
	H28	528	581																						
H29	561	615																							
H30	600	649																							
R1	-	683																							
目標値	R1 年度	683 件																							
実績値	H30 年度	600 件																							
指標名	改修補助等により耐震化した住宅の件数 [累計]																								
現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	135 件	<table border="1"> <caption>改修補助等により耐震化した住宅の件数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>135</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>144</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>150</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>183</td> <td>191</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>228</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>205</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目標値	H26	135	149	H27	144	163	H28	150	177	H29	183	191	H30	228	205	R1	-	205	
年度	現状値	目標値																							
H26	135	149																							
H27	144	163																							
H28	150	177																							
H29	183	191																							
H30	228	205																							
R1	-	205																							
目標値	R1 年度	205 件																							
実績値	H30 年度	228 件																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	(特段の意見なし。)
		7	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> ・既存住宅流通等促進奨励金交付件数は増加しているものの、認知度向上に向けて引き続き取り組まれない。 ・住宅・空き家相談についても、一層の認知度向上に向けて取り組まれない。
------------------------	--

○評価結果

B : 予定どおりの成果が得られた

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-4 経済面での出産・子育ての不安を軽減する

1-4-1 子育て世帯への経済的支援

具体的な施策	施策名	医療費助成等
	施策内容	子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、医療費の助成を中学校卒業までの子どものいる家庭に拡充するとともに不育症に対する治療費の助成を行います。
	取組状況 (H30年度)	<p>【国保医療課】 中学生以下の子どもにかかった医療費について、一部負担金を除く保険診療分の助成を行った。</p> <p>【健康課】 子どもを望む夫婦の経済的負担を軽減するため、不育症治療費助成事業と一般不妊治療費助成事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不育症治療費助成事業（H28開始） 不育症治療に要した検査費と治療費（医療保険適用分及び適応外分）の本人負担額の2分の1で、一年度につき上限15万円を助成。 支給件数⇒8件（延べ） ・一般不妊治療費助成事業（H29開始） 一般不妊治療に要した検査費と治療費（医療保険適用分及び適応外分）の夫婦の負担額の2分の1で、一年度につき上限5万円を助成。 支給件数⇒58件
	取組状況についての課題等	<p>【国保医療課】 [良かった点・悪かった点] 中学生以下の子どもの医療費助成を行うことで、子育て世帯の経済的な負担軽減に寄与した</p> <p>[R1年度の取組予定] R1年8月診療分から、県内医療機関において未就学児の医療費の現物給付を行う</p> <p>【健康課】 [良かった点・悪かった点] 不育症治療費助成・一般不妊治療費助成を実施することにより、子どもを望む夫婦の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>[R1年度の取組予定] 不育症治療費助成、一般不妊治療費助成はH30年度と同様に実施。</p>
主担当課	国保医療課・健康課	

重要業績評価指標 KPI	指標名	子育て世帯の医療サービスに関する満足度（市民満足度調査）※ （H26・H28 は本調査、H27・H29・H30 は web 調査）		
	現状値 （総合戦略策定時）	H26 年度	49.1 点	
	目標値	R1 年度	53.0 点	
	実績値	H30 年度	60.7 点	

※市民満足度調査による一般の医療サービスに関する満足度を100点満点（満足100点、やや満足75点、普通50点、やや不満25点、不満0点）で評価したもの。就学前の子ども、小学校、中学校の子どもを持つ回答者の平均値。

具体的な施策	施策名	母子保健の充実		
	施策内容	健やかな妊娠・出産を迎えるための妊婦一般健康診査の費用助成を行います。また、乳幼児健康診査・訪問指導・育児教室・子育て相談などの事業により、育児支援を行います。		
	取組状況 (H30 年度)	全国の協力産婦人科医院と個別契約を締結し、妊婦健診にかかる費用の窓口負担分の軽減を行い、受診しやすい環境整備を行った。また、乳幼児健康診査（3 か月児・7 か月児・12 か月児・3 歳 6 か月児）を小児科医療機関の協力のもと実施し、1 歳 6 か月児健診については、他職種が携わる集団健診を実施し育児支援を行った。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>妊婦一般健康診査は、個別契約により、全国どの地域であっても受診券が使えるため、窓口での自己負担額の軽減を図れた。</p> <p>乳幼児健診においては、受診勧奨や未受診追跡等を徹底して行ったものの、H30 年度の受診率は 94.8% となった。</p> <p>[R1 年度の取組予定]</p> <p>妊婦健診の助成額、妊婦健康診査補助券（基本券と追加券）の追加券の金種を 2 種類（1,000 円と 2,000 円）については変更なし。また、妊娠中の支援につなげるため、H29 年度から補助券内に健診結果記入欄を設け、健診費用請求時に健診結果を把握できるよう変更した。今後はその結果を活用して、妊娠期の支援につなげたい。</p>		
主担当課	健康課			
重要業績評価指標 KPI	指標名	乳幼児健診受診率		
	現状値 （総合戦略策定時）	H26 年度	98.1%	
	目標値	R1 年度	99.0%以上	
	実績値	H30 年度	94.8%	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・医療費助成を中学生まで拡大したこと等により、子育て世帯への経済的な支援に繋がった。
	2	5	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・子育て世帯への経済的な支援の項目なので、経済的な支援を行っている内容をKPIにするべき。
------------------------	---

○評価結果

B：予定どおりの成果が得られた

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

<p>目指す将来像</p>	<p>市内企業でのワーク・ライフ・バランスに関する取組が進み、母親が子育てしながら多様な働き方を選択しているとともに、母親が希望のしごとを自ら起業し、家計を支える収入を得ながら子育てとの両立に繋げている。</p>		
<p>数値目標</p>	<p>女性の就業者数（「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」を含む）（国勢調査）</p>		
<p>現状値 （総合戦略策定時）</p>	<p>H22 年度</p>	<p>18,814 人 (20,457 人)</p>	
<p>目標値</p>	<p>R1 年度</p>	<p>19,300 人 (20,985 人)</p>	
<p>実績値</p>	<p>H27 年度</p>	<p>20,337 人 (22,201 人)</p>	
<p>数値目標</p>	<p>女性の新規起業数（生駒市起業支援融資制度利用の女性起業家）</p>		
<p>現状値 （総合戦略策定時）</p>	<p>H26 年度</p>	<p>1 件</p>	
<p>目標値</p>	<p>R1 年度</p>	<p>6 件</p>	
<p>実績値</p>	<p>H30 年度</p>	<p>1 件 (H27 以降申請 9 件中 9 件男性)</p>	
<p>基本目標への実現への効果</p>	<p>目指す将来像の実現に寄与したH30 年度の取組として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な働き方推進セミナー、生駒市民の新しい働き方シンポジウムの開催 ・創業者支援セミナー、サロネーゼカフェの開催 ・新規就農者希望者と土地所有者のマッチング などが挙げられる。 <p>H30 年度においても、引き続きテレワーク&インキュベーションセンターイコマドを軸として、ワーク・ライフ・バランス向上に向けた取組や起業支援セミナー等を行い、「母親が希望のしごとをできるまち」を目指した。交流会やセミナーへの参加者は大幅に増加したものの、数値目標として掲げている「女性の新規起業」には至らなかった。今後も、引き続き、起業支援を行うとともに、各業種での雇用拡大に向けた取組を推進し、母親が希望の仕事に就けるようサポートしていきたい。</p>		

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

2-1 企業での多様な働き方を広げる

2-1-1 ワーク・ライフ・バランスの推進

具体的な施策	施策名	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発
	施策内容	仕事と育児の両立を促進するため、市民や事業者へのワーク・ライフ・バランスについての意識啓発や、市役所や市内事業所を対象に、育児休業等の取得促進、ワーク・ライフ・バランス先進企業等の取組の紹介など、子育てしながら就業しやすい環境づくりを支援します。
	取組状況 (H30 年度)	<p>【男女共同参画プラザ】 働き方改革の推進を図る「生駒市民の新しい働き方シンポジウム」や男性の家事・育児参加を目的とした親子クッキング、防災と男女共同参画講座などを開催した。</p> <p>【商工観光課】 ◇クラウドソーシングの活用をテーマにした「多様な働き方推進セミナー」を、託児付きで2回開催し、子育てや介護等との両立に繋がる在宅勤務の普及啓発を行った。 ◇多様な働き方普及の拠点となるテレワーク&インキュベーションセンター「イコマド」の活用促進により、サテライトオフィスの誘致や、起業の後押し等も行った。</p>
	取組状況に ついての課題等	<p>【男女共同参画プラザ】 [良かった点・悪かった点] 国が推進している女性活躍推進や働き方改革に沿った事業を進めていく必要がある。</p> <p>[R1 年度の取組予定] 女性の多様な暮らし方の推進とこれを活用した都市イメージの向上による転入・定住促進事業「新しい住まい方・暮らし方セミナー」を開催する。</p> <p>【商工観光課】 [良かった点・悪かった点] 指定管理者によるお試しキャンペーンの実施や、会員以外も参加しやすいセミナーやワークショップを多数開催し、イコマドの利用件数を大幅に伸ばした。</p> <p>[R1 年度の取組予定] 引き続きイコマドを中心として、広く多様な働き方の普及を行うとともに、利用者間の横の繋がりが、新たな事業や起業の可能性を高めるため、交流イベントを定期的で開催するなどしてコワーキング拠点としての認識も高めていきたい。</p>

主担当課		男女共同参画プラザ・商工観光課		
重要業績評価指標 K P I	指標名	男性の平日の家事労働時間「全くしない」人の割合 (現状値はH25 男女共同参画・人権についての市民アンケート調査、H28 は市民満足度調査、H29・H30 は web 市民満足度調査)		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	18.3%	
	目標値	R1 年度	14.5%	
	実績値	H30 年度	5.9%	

具体的な施策	施策名	テレワークの推進【加速化対象、推進対象】		
	施策内容	ワーク・ライフ・バランスの実現や子育て層の女性の就業機会を拡大するため、テレワークの導入支援やサテライトオフィスの誘致、テレワークセンターの整備等を図り、テレワークの普及促進に取り組みます。		
	取組状況 (H30 年度)	<p>多様な働き方推進セミナーを、市民向けと企業向けに、2 回ずつ開催。さらにセミナー参加者向けの詳細な講座を全 2 回と動画配信を実施。在宅等による働き方に興味のある市民と、人材確保に向けてテレワークの導入を検討する企業の双方に啓発を行った。</p> <p>(1)3 月 8 日 市民向け参加者 38 名、企業向け参加者 1 社 (2)3 月 21 日 市民向け参加者 34 名、企業向け参加者 2 社 追加講座参加者 11 名、動画視聴者 95 名</p>		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点] テレワーク、中でも在宅によるクラウドソーシングに題材を絞ったことで、深い興味と意欲をもつ参加者が集まった。また、併せて設けた相談ブースの利用率が高く、就労に向けた、具体的な相談対応の需要が高いことが分かった。</p> <p>[R1 年度の取組予定] 企業において、テレワークやサテライトオフィスに関する需要が、高まる中、引き続き、イコマドを中心とした普及活動を行うとともに、より具体的な個々の相談対応も行い、多様な就労のバックアップを行っていききたい。</p>		

主担当課		商工観光課		
------	--	-------	--	--

重要業績評価指標 K P I	指標名	テレワーク導入件数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	
	目標値	R1 年度	2 件	
	実績値	H30 年度	2 件	

具体的な施策	施策名	女性の活躍推進	
	施策内容	男女がそれぞれ、個性や能力を発揮した生きがいのある人生をおくれるよう、家庭や職場、地域社会等における女性の活躍促進に取り組めます。	
	取組状況 (H30 年度)	【男女共同参画プラザ】 講座・イベントや女性相談を通して、女性のエンパワーメント向上につながる一定の取組を行った。 【人事課】 仕事と家庭の両立支援や職員一人一人が個性と能力を発揮できる活躍支援をさらに進めるために、特定事業主行動計画を H28 年 3 月に策定した。H30 年度は計画策定から 3 年目となり、計画の進捗状況を把握するため、策定委員会を開催した。また、開催にあたり、幅広い層から意見を聴くため、職員全員に対して意見を募集した。	
	取組状況についての課題等	【男女共同参画プラザ】 [良かった点・悪かった点] 講座・イベントの開催の周知を徹底すること。より多くの参加者が見込まれるよう講座内容や周知方法を工夫する必要がある。 [R1 年度の取組予定] 女性の就業支援セミナーや子育てイベント等合同で開催し、女性が家族、仕事、地域コミュニティを大切にしながら働ける場所づくりを目指し、あらゆる分野での女性の活躍を推進する。 【人事課】 [良かった点・悪かった点] 職員全員に対して、匿名での募集も可として意見を求めたところ、2 名の方から意見があった。今後も自由に意見を言える機会を設けていきたい。 [R1 年度の取組予定] 策定委員会を開催し、計画達成に向けた進捗管理を行う。	

主担当課	男女共同参画プラザ・人事課		
------	---------------	--	--

重要業績評価指標 KPI	指標名	市役所における女性管理職員の割合		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	21.8%	
	目標値	R1 年度	30.0%	
	実績値	R1 年度	28.4%	

補助指標		女性の就業率※	
		生駒市	(全国)
現状値	H27 年 国勢調査	42.4%	48.3%
(参考)	H22 年 国勢調査	39.6%	47.1%

※15 歳以上の女性の人口の中で、実際に働いている人の割合を算出（総数から「不詳」を除く）
 (出典) 総務省「国勢調査」(2010 年度、2015 年度)

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・セミナーやワークショップの実施より、イコマドの利用・認知度向上に繋がっており、評価できる。
	2	4	1	1			

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> ・国と雇用主の間で働き方改革の言葉の定義に乖離があるように感じる。 ・市役所における女性管理職員の割合について、目標を意識して取り組まれない。
------------------------	--

○評価結果

B: 予定どおりの成果が得られた

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

2-2 市内での雇用を生み出す事業活動を伸ばす

2-2-1 市内産業の活性化

具体的な施策	施策名	企業の誘致																							
	施策内容	工業団地周辺の基盤整備や補助、支援制度の展開など、魅力ある創業環境を整え、新たな企業誘致に取り組みます。																							
	取組状況 (H30年度)	H30年度は、H30年3月に実施した大阪府下3,000社へのアンケート結果を基に立地可能性の高い12社を訪問し、将来への種まきを実施した。 問い合わせを多く受けていたが企業側のスケジュールにより年度内の誘致は1件にとどまった。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>◇業績が良く工場の拡張を検討する大阪府下の企業にとって、生駒市は土地価格の安さや、従業員の通勤が可能な距離を踏まえて企業側にとって魅力的であることを改めて強く感じた一年であった。</p> <p>◇人口減少時代に突入し、市の財政が厳しい状況の中、細かな施策をたくさん実施すること以上に、同補助金の果たす将来を見据えた財政的役割は非常に重要と考える。</p> <p>[R1年度の取組予定]</p> <p>◇H30年度に訪問した企業のうち立地可能性のある企業のフォローを丁寧に行う。</p> <p>◇奈良県との情報共有をこれまで以上に密に行い、企業への立地希望のニーズを逃さないようにする。</p>																							
主担当課		商工観光課																							
KPI 重要業績評価指標	指標名	誘致企業 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	11社	<table border="1"> <caption>誘致企業数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>11</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>16</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>17</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	11	-	H27	12	12	H28	16	14	H29	16	16	H30	17	18	R1	20	20
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	11	-																						
H27	12	12																							
H28	16	14																							
H29	16	16																							
H30	17	18																							
R1	20	20																							
目標値	R1年度	20社																							
実績値	H30年度	17社																							

具体的な施策	施策名	設備導入等支援事業【先行型対象】		
	施策内容	事業拡大や生産性を向上させるため、事業所を対象に、機器購入や事業所の改装等に係る経費について補助を行います。		
	取組状況 (H30年度)	H27年度～29年度の3年間で事業は終了したため、H30年度は実施せず。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>本補助金は、多くの自己負担があっても設備導入等の積極的な取り組みを進める企業を対象にしていることから、単なるばらまきではなく効果的に企業を支援することができた。</p> <p>例え予算額は大きくなって、市が企業活動を支援する姿勢を見せ続けることで、企業にとっては生駒市で操業し続けるモチベーションの一つとなると考える。</p> <p>[R1年度の取組予定]</p> <p>実施しない。</p>		
主担当課		商工観光課		
K P I 重要業績評価指標	指標名	機器設備導入企業における売上増 [累計] H26年度比		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	R1年度	2.0%	
	実績値	H29年度	-	
	指標名	機器導入件数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
目標値	R1年度	24件		
実績値	H30年度	24件		

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	(特段の意見なし。)
	1	5	1	1			

[評価基準] A: 高い成果が得られた B: 予定どおりの成果が得られた C: 一定の成果が得られた
D: やや不十分な成果にとどまった E: 成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・企業の生産性向上、事業拡大の一助となるような取組を引き続き検討されたい。
------------------------	---------------------------------------

○評価結果

B: 予定どおりの成果が得られた

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

2-3 子どもの近くで母親が希望する仕事に就ける環境をつくる

2-3-1 ビジネスにつながる人的ネットワークの形成

具体的な施策	施策名	産官学連携による起業希望者等・起業支援者交流会等の実施																
	施策内容	<p>起業意欲のある女性(子育て層)によるビジネスの立ち上げを目指し、パートナーとなる人材とのマッチングや、事業スキームの構築、実際の事業活動の立ち上げを支援する起業支援者との交流会を開催します。</p> <p>また、ビジネスプランコンテストを開催して、飛躍的な成長が期待できる起業者を認定し、集中的な育成支援を行います。</p>																
	取組状況(H30年度)	<p>産官学連携事業ではないが、起業支援という形で、次の2つの取組を行った。</p> <p>(1) 創業者支援セミナー ワークショップを2回(38人)と交流会(10人)を実施し、異業種の交流を支援した。</p> <p>(2) サロナーゼカフェ 女性起業家によるカフェ形式の講座を全8回実施し、延べ62人(実人数37人)の参加があり、起業のヒントや苦勞を多くの方と共有できた。</p>																
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点] どちらも1回当たりの参加者は少人数で実施しており、参加者にとって内容の深い対話の場となった。</p> <p>[R1年度の取組予定] 産官学連携事業においては、同施策を実施しないが、創業希望者や創業間もない人にとって貴重な場となる交流会は、イコマドでの事業とより連携していく。</p>																
主担当課		商工観光課																
重要業績評価指標 KPI	指標名	交流会の参加者数 [累計]																
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>交流会の参加者数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>211</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>245</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>255</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>365</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	年度	参加者数	H26	0	H27	211	H28	245	H29	255	H30	365	R1	40
	年度	参加者数																
	H26	0																
H27	211																	
H28	245																	
H29	255																	
H30	365																	
R1	40																	
目標値	R1年度	40人																
実績値	H30年度	365人																

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・交流会の参加者は順調に増加しており、認知度の向上、起業に向けた動機付けに繋がった。
	5	2	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> ・潜在的なニーズはまだ存在すると感じる。多方面へ周知を行い、認知度の向上に努められたい。 ・高い成果が得られた理由を把握し、今後の取組に繋がられたい。
------------------------	--

○評価結果

A:高い成果が得られた

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

2-3 子どもの近くで母親が希望する仕事に就ける環境をつくる

2-3-2 起業に対するきめ細かな支援の充実

具体的な施策	施策名	起業者を支援する体制づくり及び情報発信【加速化対象】																							
	施策内容	ベルテラスいこまのイベントや起業支援スペースから芽生えた起業意欲のある方に対し、店舗経営のノウハウの継承・指導等の包括的な起業者の育成支援を実施します。 また、そうした支援を効果的に行うための情報発信やワンストップ窓口の設置、起業支援セミナーの開催などを行います。																							
	取組状況 (H30年度)	◇創業支援事業計画に基づく起業支援セミナーを実施した。 ◇他の支援機関が行う様々なセミナーを常に市ホームページ及びツイッターで発信した。 ◇多様な働き方を支援するイコマドにおいて、様々な起業関連のイベントを実施したほか、奈良県よろず支援拠点による出張相談を年間6回（奇数月の第4金曜日）開催し、相談しやすい環境を整備した。																							
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] ワンストップ窓口の体制が整い、経営相談等の支援機関である奈良県よろず支援拠点と密な連携をとりながら実施できた。 [R1年度の取組予定] 取組を継続しながら、イコマドと奈良県よろず支援拠点のネットワークと連動した体制づくりと、よりきめ細かな情報発信を行う。																							
主担当課	商工観光課																								
KPI 重要業績評価指標	指標名	創業支援対象者数（うち、女性の対象者数）																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>創業支援対象者数 (うち、女性の対象者数)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>55</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>0</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>55</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>33</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	55	30	H27	0	30	H28	55	30	H29	33	30	H30	30	30	R1	30	30
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	55	30																						
	H27	0	30																						
	H28	55	30																						
H29	33	30																							
H30	30	30																							
R1	30	30																							
目標値	R1年度	30人																							
実績値	H30年度	30人 (17人)																							
指標名	起業支援セミナー件数 [累計]																								
現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	3件	<table border="1"> <caption>起業支援セミナー件数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>8</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>16</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>24</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>24</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	3	2	H27	4	4	H28	8	6	H29	16	8	H30	24	10	R1	24	12	
年度	現状値	目指す値																							
H26	3	2																							
H27	4	4																							
H28	8	6																							
H29	16	8																							
H30	24	10																							
R1	24	12																							
目標値	R1年度	12件																							
実績値	H30年度	24件																							

具体的な施策	施策名	起業支援スペース等の整備【加速化対象、推進対象】		
	施策内容	店舗運営をしたい子育て層の女性起業家に対して、経営指導員等の専門家からのアドバイスを受けながら試験的に店舗を運営し、事業の実現性を高めていく支援を行う場として、起業支援スペース等を整備し、起業者をハード、ソフトの両面から支援していきます。		
	取組状況 (H30年度)	起業支援の場として、H29年4月から生駒市テレワーク&インキュベーションセンターを指定管理で開設。以降、女性起業家や起業希望者を対象としたセミナーや交流会を開催し、女性起業家が活発に情報交換する場として徐々に周知されている。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>セミナーや交流会を繰り返し開催することで同センターの知名度は徐々に向上し、利用者は前年比で大幅に増加している。しかし、収入の柱となる月額利用者の伸びは弱い。</p> <p>[R1年度の取組予定]</p> <p>様々なテーマでセミナーや交流会を開催することで、同センターが起業希望者等の不安を解消できる場として周知・整備を進める。</p>		

主担当課	商工観光課
------	-------

重要業績評価指標 KPI	指標名	起業支援スペース延べ利用件数（うち、女性の利用件数）		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	R1年度	4件	
	実績値	H30年度	662件 (78件)	

補助指標	生駒市テレワーク&インキュベーションセンターに係る事業への参画による就労者延べ人数(うち、女性の人数)※
H30年度	3人(1人)
H29年度	2人(2人)
H28年度	0人(0人)

※テレワークスペースの利用者及び、起業支援スペースの利用者のうち開業届を提出した人の合計

補助指標	生駒市テレワーク&インキュベーションセンター利用件数		
	テレワーク	インキュベーション	コワーキング
H30年度	277件	662件	755件
H29年度	134件	230件	187件
H28年度	15件	16件	20件

具体的な施策	施策名	起業者支援融資に係る利子補給																							
	施策内容	市内産業の活性化に向けて、市内起業家を対象とした、起業費用に対する低利融資・利子補給を行います。																							
	取組状況 (H30 年度)	起業の具体的な計画がある又は起業後 6 か月以内の個人・法人を対象に市の融資制度に基づく融資を行った。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>◇自己資金の範囲で起業し、借入をしないケースも増えているが、着実に利用されている。融資の申し込みは 6 件あったが融資実行は 3 件であった。</p> <p>[R1 年度の取組予定]</p> <p>◇支援機関との連携はもとより、起業に関するイベントで、本制度の周知を行う。</p>																							
主担当課		商工観光課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	起業支援融資件数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	2 件	<table border="1"> <caption>現状値と目指す値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>11</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	2	2	H27	5	4	H28	6	6	H29	8	8	H30	11	10	R1	-	12
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	2	2																						
H27	5	4																							
H28	6	6																							
H29	8	8																							
H30	11	10																							
R1	-	12																							
目標値	R1 年度	12 件																							
実績値	H30 年度	11 件																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・創業前の支援、創業後のフォローともに充実しており、評価できる。 ・様々な支援を行っているが、創業に繋がるケースは少ない。創業に係る障壁を分析し、取組に繋げられたい。
	5	2	1				

[評価基準] A: 高い成果が得られた B: 予定どおりの成果が得られた C: 一定の成果が得られた D: やや不十分な成果にとどまった E: 成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	<ul style="list-style-type: none"> ・生駒駅前商店街の活性化、バルテラスの積極的な利活用を図られたい。 ・高い成果が得られた理由を把握し、今後の取組に繋げられたい。
----------------	---

○評価結果

A : 高い成果が得られた

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

2-4 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる

2-4-1 子育て支援に関する事業活動の創出

具体的な施策	施策名	地域型保育事業の整備		
	施策内容	保育ニーズの高い地域を対象として、待機児童を解消するため、空き家等も活用した地域型保育事業の積極的な展開を進めます。		
	取組状況 (H30年度)	H30年4月1日に小規模保育所（いちぶちどりキッズ たにだ）を開園した。 【以下、1-1-1再掲】 ①増加する保育需要に対して即応性が期待できる小規模保育所の開園に向けた補助金の交付等準備を行った。 ②地域型保育事業の積極的な展開を進めるべく、企業に対して、「企業主導型保育事業」の推進に向けた働きかけを広く行った。		
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 【1-1-1再掲】 小規模保育所の開園（1園）に向けた準備がほぼ整ったことから、待機児童の解消に向けて前進したところだが、今後も新たな開園に当たっては、その用地の確保や3歳児の受入れのための連携施設の不足が危惧されるところである。 [R1年度の取組予定] 【1-1-1再掲】 中保育園の厨房施設を増築したことに伴い、既存の給食調理室(厨房室)を保育室として整備し、待機児童解消を進める。		
主担当課	こども課			
重要業績評価指標 KPI	指標名	地域型保育事業開設件数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	R1年度	8件	
	実績値	H30年度	6件	

具体的な施策	施策名	ファミリーサポート事業の需要・供給両面からの利便性向上																
	施策内容	ファミリーサポート事業における会員の登録を進め、地域の子育て支援に関わる人材を確保するとともに、会員相互が子どもを預け、預かる関係づくりを行い、より利用しやすい仕組みを整えます。																
	取組状況 (H30年度)	<p>広報いこまちに年4回掲載し、ファミリーサポート事業の周知を行った。また、会員登録継続の確認案内時に援助会員と直接話をして、活発な活動を依頼した。</p> <p>援助活動の前には依頼会員・援助会員・アドバイザーによる現地事前打合せを必ず行い、事故が起こらないように指導を実施した。救急救命講習を必須とし、安全面の向上に努めた。</p>																
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点] 利用件数は前年度から約600件減少し、年間2,113件であった。(5.8件/日)</p> <p>[R1年度の取組予定] 救急救命講習の実施回数を1回から2回に増やすことで、援助会員の活動を促進し、さらに安全面の向上を図る。</p>																
担当課		子育て支援総合センター																
重要業績評価指標 KPI	指標名	ファミリーサポートの利用件数																
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	2,223件	<table border="1"> <caption>ファミリーサポートの利用件数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>2,223</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>2,642</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>2,400</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>2,652</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>2,113</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>2,700</td> </tr> </tbody> </table>	年度	利用件数	H26年度	2,223	H27年度	2,642	H28年度	2,400	H29年度	2,652	H30年度	2,113	R1年度	2,700
	年度	利用件数																
	H26年度	2,223																
H27年度	2,642																	
H28年度	2,400																	
H29年度	2,652																	
H30年度	2,113																	
R1年度	2,700																	
目標値	R1年度	2,700件																
実績値	H30年度	2,113件																

○総合戦略会議（全体会）からの平成30年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	・アズママとの協定による子育てシェアの取組を実績として記載するべき。
		4	2	1	1		

【評価基準】 A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	<ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポートの利用件数が大幅に減少していることについて、要因を分析し、課題解決に向けて取り組まれない。 子育てシェアの取組の利用実績を把握し、ファミリーサポート制度との関係性を検証し、それぞれのサービス向上に繋がりたい。
----------------	--

○評価結果

B：予定どおりの成果が得られた

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

2-4 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる

2-4-2 介護・福祉分野における事業活動の創出

具体的な施策	施策名	介護関係資格取得費の支援																							
	施策内容	市内の介護施設等で働く介護人材等の不足を解消するため、資格の取得等にかかる費用の支援等を行います。																							
	取組状況 (H30年度)	介護未経験者・初任者（就労1年以内）の方に対して、広報いこまち・市ホームページ・市内の公共施設（子育て支援施設含）等で周知・募集し、介護職員初任者研修の受講に係る経費について一人当たり5万円を限度に助成した。H30年度からは市外在住の方にも助成できるよう要綱改正し公募した。助成人数はH29年度と同数であった。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>多くの方々が目にする公共施設等に募集要項を設置し、子育て期間中や定年退職後の方々の目に触れるようにしたため、幅広い年齢層の方に応募していただいた。また、他市町村在住の方が生駒市内に就労した場合も助成できるように改正したため、市外からの就労者2名にも助成することができた。</p> <p>資格取得後に就労する場合、年度末までに就労できず助成が出来ない事例があった。</p> <p>[R1年度の取組予定]</p> <p>引き続き同じ条件で募集し、市内事業所に就労された方に助成する。</p>																							
主担当課	介護保険課																								
重要業績評価指標	指標名	資格取得支援者数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>資格取得支援者数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>8</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>13</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>18</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	0	0	H27	3	20	H28	8	40	H29	13	60	H30	18	80	R1	-	100
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	0	0																						
H27	3	20																							
H28	8	40																							
H29	13	60																							
H30	18	80																							
R1	-	100																							
目標値	R1年度	100人																							
実績値	H30年度	18人																							

具体的な施策	施策名	地域密着型サービス事業所の整備																							
	施策内容	住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるよう、地域密着型サービス事業所の整備を進めます。																							
	取組状況 (H30年度)	第7期介護保険事業計画に基づき、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）及び看護小規模多機能型居宅介護の公募を行った。 H30年度末にそれぞれ1事業者選定され、R1年度末に開設予定である。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>認知症高齢者が増加し、グループホーム等の需要が伸びている中で、事業者の選定が行えた。また、第6期介護保険事業計画に、応募がなく整備ができなかった看護小規模多機能型居宅介護の選定を行った。</p> <p>[R1年度取組予定]</p> <p>H30年度に選定された事業所の整備を行う。第7期介護保険事業計画に基づき、R1年度に小規模多機能型居宅介護の公募を予定しているが、利用状況や介護人材確保の観点から整備の必要性について検討する。</p>																							
主担当課		介護保険課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	地域密着型サービス事業所数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	11箇所	<table border="1"> <caption>地域密着型サービス事業所数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>13</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>13</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	11	11	H27	12	11	H28	12	11	H29	13	11	H30	13	16	R1	16	16
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	11	11																						
H27	12	11																							
H28	12	11																							
H29	13	11																							
H30	13	16																							
R1	16	16																							
目標値	R1年度	16箇所																							
実績値	H30年度	13箇所																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成30年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	・資格取得支援者数が目標から乖離している。次年度も同様に取り組むのではなく、要因を分析し、課題解決に繋がりたい。
	1	1	3	2	1		

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	・雇用の拡大はもとより、高齢化の加速により、今後さらにニーズが高まるので、一層の充実を期待する。
----------------	--

○評価結果

C:一定の成果が得られた

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

2-4 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる

2-4-3 食に関する地域産業の創出

具体的な施策	施策名	新規就農の支援																							
	施策内容	農地の斡旋、農地情報の提供、営農相談、設備投資支援等による新規就農者への支援制度を拡充することにより、地域農業の振興に努めます。																							
	取組状況 (H30年度)	新規就農希望者と農地所有者とのマッチングを積極的に行った結果、2人の新規就農者による農地集積ができ、遊休農地解消につながった。また、H29年度の青年新規就農者1人に対して、農林課との連携により、青年等就農計画の認定をするとともに、経営が不安定な就農直後（5年以内）の所得を確保する国の交付金として、農業次世代人材投資資金の手続きを進め給付をした。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>H29年度の青年新規就農者に対して支援を行った結果、地域の中心的な経営者として営農されている。</p> <p>本市での新規就農希望者を増加させるため、農地情報の提供について、より積極的にPRしていく必要がある。</p> <p>[R1年度の取組予定]</p> <p>農地バンクの充実を図り、農林課と連携しながら、積極的にマッチングを行う。</p>																							
主担当課		農業委員会事務局																							
KPI 重要業績評価指標	指標名	新規就農者数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	6人	<table border="1"> <caption>新規就農者数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>18</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>23</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>25</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	6	4	H27	10	5	H28	18	6	H29	23	7	H30	25	8	R1	-	9
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	6	4																						
H27	10	5																							
H28	18	6																							
H29	23	7																							
H30	25	8																							
R1	-	9																							
目標値	R1年度	9人																							
実績値	H30年度	25人																							
具体的な施策	施策名	農産物の加工・特産品の開発支援																							
	施策内容	農家と地元飲食店との交流機会の創出や、空き農地を活用した生駒市ならではの農作物や果樹の栽培などの取組の中から、農産物の加工、特産品の開発への支援を進めます。																							

	取組状況 (H30 年度)	<p>H29 年度に行った農家アンケートに引き続き、地元飲食店や学校給食センター、農業法人等とのヒアリングを実施した。</p> <p>また、農業者等を対象として、未流通野菜等の流通促進について、地産地消推進講演会を行い生産意欲の向上を図った。</p> <p>さらに、市独自の特産品づくりの取組支援として、ふるさと納税返礼品のPRをした結果、新たに3人が登録された。</p>																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>地元飲食店等とのヒアリングの結果、地元飲食店が地域の農産物を購入できる仕組みや消費者が地域の農産物を扱う飲食店・スーパー等の情報が必要であることなど、現状・課題が把握できた。</p> <p>[R1 年度の取組予定]</p> <p>H30 年度の取組の結果や農業ビジョン推進懇話会での意見を取り入れ、新たな農業ビジョンを策定する。</p>																							
	主担当課	農林課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	支援件数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	<table border="1"> <caption>支援件数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	0	0	H27	0	0	H28	0	0	H29	0	0	H30	3	-	R1	-	3
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	0	0																						
H27	0	0																							
H28	0	0																							
H29	0	0																							
H30	3	-																							
R1	-	3																							
目標値	R1 年度	3 件																							
実績値	H30 年度	3 件																							

具体的な施策	施策名	地産地消の推進
	施策内容	黒大豆をはじめ学校給食用食材の安定供給に向けた生産拡大を進めるとともに、地場農産物の販売コーナーの設置などに取り組みます。
	取組状況 (H30 年度)	<p>学校給食用食材の安定供給に向けた生産拡大については、市内農業者に対して補助金の案内を行っており、出荷数量は毎年微増している。なお、黒大豆への市の補助金については、H30 年度から交付しないこととした。</p> <p>地場農産物の販売コーナーの設置については、JA が主体となり、7 月から 2 回/月の朝市を開催（市は物品の提供支援）。また、アンテナショップ「おちやせん」において、農業者の出店希望の増加に伴う、地場産農産物の販売コーナーの拡充をすることができた。</p>

	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>学校給食用食材の安定供給に向けた生産を拡大するためには、対象作物の拡大や新規生産者（新規就農者含む）の確保が課題である。</p> <p>[R1年度の取組予定]</p> <p>引き続き、農業者へのPRや新規生産者（新規就農者含む）の確保に取り組むとともに、農産物の供給に係る制度化又は組織化に向け、学校給食センターや農業者、JAとの協議を進める。</p>		
	主担当課	農林課		
KPI 重要業績評価指標	指標名	黒大豆の作付面積		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	市 222a 国 184a	
	目標値	R1年度	市 250a	
	実績値	H30年度	市 0a 国 135a	

※「黒大豆の作付面積」の実績値について、従来は市の補助対象についてのみ算出していたが、市の補助が廃止になったので、国の補助対象を併記する。

	指標名	学校給食用食材の出荷量		
補助指標	実績値	H30年度	6,320kg	
		H29年度	5,810kg	
		H28年度	5,280kg	
		H27年度	4,000kg	
		H26年度	3,180kg	

○総合戦略会議（全体会）からの平成30年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	(特段の意見なし。)
	2	4	1	1			

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	・農業で生計を立てている人のノウハウを共有するよう努められたい。
----------------	----------------------------------

○評価結果

B:予定どおりの成果が得られた

基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

<p>目指す将来像</p>	<p>子育て層（特に女性）にとって魅力的なイベントが企画、開催されるなど、まちの魅力の発信力が強化され、本市の都市ブランド力が向上しているとともに、その魅力に惹かれて市外から子育て世帯（親との同居・近居を望む生駒市出身者を含む）が新たに市に流入してきている。また、市内においても、子育て世帯だけでなく 20～24 歳を中心とした若年層や高齢者などの他の世代の転出抑制にも繋がり、市民の定住促進が進んでいる。</p>																																		
<p>数値目標</p>	<p>子育て層の転入者数（住民基本台帳人口移動報告（総務省統計局）の1～12月の30歳代の転入者数）</p>																																		
<p>現状値 （総合戦略策定時）</p>	<p>H25 年度</p>	<p>1,179 人</p>	<table border="1"> <caption>転入者数と転出者数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>転入者数</th> <th>転出者数</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>1,000</td> <td>1,179</td> <td>1,238</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>963</td> <td>1,014</td> <td>1,238</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>940</td> <td>1,087</td> <td>1,238</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>863</td> <td>1,010</td> <td>1,238</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>911</td> <td>935</td> <td>1,238</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>892</td> <td>892</td> <td>1,238</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>859</td> <td>859</td> <td>1,238</td> </tr> </tbody> </table>	年度	転入者数	転出者数	目指す値	H25	1,000	1,179	1,238	H26	963	1,014	1,238	H27	940	1,087	1,238	H28	863	1,010	1,238	H29	911	935	1,238	H30	892	892	1,238	R1	859	859	1,238
年度	転入者数	転出者数		目指す値																															
H25	1,000	1,179		1,238																															
H26	963	1,014	1,238																																
H27	940	1,087	1,238																																
H28	863	1,010	1,238																																
H29	911	935	1,238																																
H30	892	892	1,238																																
R1	859	859	1,238																																
<p>目標値</p>	<p>R1 年度</p>	<p>1,238 人</p>																																	
<p>実績値</p>	<p>H30 年度</p>	<p>859 人</p>																																	
<p>基本目標への 実現への効果</p>	<p>目指す将来像の実現に寄与したH30年度の取組として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イコマニア 100 の実施 ・IKOMA SUN FESTA の開催 ・市民みんなで創る音楽祭を始めとした文化芸術活動の実施 ・学校図書館司書の配置 ・シビックパワーバトル大阪夏の陣に参加 ・都市活力協創サイト「グッドサイクルいこま」の公開などが挙げられる。 <p>上記取組等、「子育て層が転入したいまち」に向けた取組を実施したものの、数値目標として掲げている子育て層の転入者数は減少する結果となった。今後は、これらの取組の効果や転入を阻害している要因を分析し改善を図るとともに、市内外に生駒の魅力を伝え、地域参画や推奨意欲を喚起し、子育て層の転入及び、定住意向の醸成に繋げていきたい。</p>																																		

基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

3-1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり

3-1-1 イベントの開催

具体的な施策	施策名	イコマニア 100 の実施																							
	施策内容	市主催や市民・団体との協働で行われる楽しい公共・公益イベントについて、「イコマニア」として認定し、情報発信することで、楽しいまちづくりを実現し、子育て世帯の定住や転入に繋げる。																							
	取組状況 (H30 年度)	申請のあったイベントを認定要綱に基づいて認定し、広報いこまち・ポスター・市ホームページ等で情報発信を行うことで広報支援を実施した。また、昨年度に引き続き、イベント主催者に対する保険（傷害保険、賠償責任保険）に加入した。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30 年度は認定件数が 223 件、イベント開催件数が 327 回に増加するとともに、新規の申請団体も増え、イコマニアが認知され、浸透してきている。 ・申請団体には、子育て世代の女性も多く、イベントも同世代の女性を対象としたものが増えている。 ・多くの団体が、実施後の課題をふまえた改善や工夫を重ねながら、取り組みを継続発展させている。 ・保険制度により、H30 年度には 2 件の事故に保険適用することができた。 ・多くの団体が人手不足などと相まって、役所に対する書類申請などに煩わしさを感じている。 ・各団体の想いはそれぞれで、一律の手法では難しい場面も出てきた。 <p>[R1 年度の取組予定]</p> <p>団体の意見交換などの機会を創出し、各団体のニーズを可能な限り組み込みながら、さらなる子育て世代等の取り込みに努める。コラボによる事業展開など、相乗効果が生まれ、団体や活動の発展につながる仕掛けを行う。</p>																							
主担当課		市民活動推進課																							
KPI 重要業績評価指標	指標名	イコマニア 100 開催回数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	<table border="1"> <caption>イコマニア 100 開催回数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>63</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>217</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>327</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	0	0	H27	20	20	H28	63	40	H29	217	60	H30	327	80	R1	-	100
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	0	0																						
H27	20	20																							
H28	63	40																							
H29	217	60																							
H30	327	80																							
R1	-	100																							
目標値	R1 年度	100 回																							
実績値	H30 年度	327 回																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・イコマニア開催回数は目標を大きく上回っており、評価 できる。
	7	1					

[評価基準] A: 高い成果が得られた B: 予定どおりの成果が得られた C: 一定の成果が得られた
D: やや不十分な成果にとどまった E: 成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの申請手続きの簡素化について検討されたい。ポスター以外での周知も検討し、盛り上がりを維持されたい。 ・今後はイコマニア開催回数だけでなく、内容のより一層の充実を期待する。
------------------------	---

○評価結果

A: 高い成果が得られた

基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

3-1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり

3-1-2 文化芸術活動やスポーツ・ツクリエーション活動への参加機会の創出

具体的な施策	施策名	文化芸術活動への参加機会の創出																
	施策内容	小学校のブラスバンドや中学校の吹奏楽をはじめ、本市は音楽活動が非常に盛んであることから、子育て世帯が親子で参加できる音楽会を開催するなど、子育て層の文化芸術活動への参加を促進する。																
	取組状況 (H30 年度)	市民みんなで創る音楽祭事業の「おやこで歌おう！みんなのコンサート 寸劇『ももたろう』」「みんなで歌おう童謡唱歌～ご年配の方からお子さんまで一緒に～」 「『音楽の贈り物』～生駒カルテットによる弦楽四重奏～」や、市民吹奏楽団のいこままブラス♪による「0才から楽しめるファミリーコンサート」など、乳幼児連れで音楽を楽しんでいただく機会を提供し、多数のご家族にご来場いただいた。																
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の方が中心となり、演奏者として、またイベントの企画・運営者として、親子で楽しめるイベントを実施していただいた。 ・市民みんなで創る音楽祭事業では、親子で楽しんでもいただけるイベントの割合が増え、有料公演であってもチケットが完売するなど、大盛況であった。 ・H30 年度から「0才から楽しめるファミリーコンサート」で入場整理券を発行し、会場の混乱を避けることができた。入場整理券は即日配布終了し、人気の高さがうかがえた。ただし、ホール定員数に見合った入場整理券を発行したことで、入場者数は H29 年度以前と比較して減少した。 <p>[R1 年度の取組予定]</p> <p>市民みんなで創る音楽祭事業（具体的な事業内容は未定）の実施や、市民吹奏楽団のいこままブラス♪による「0才から楽しめるファミリーコンサート」の継続開催。</p>																
主担当課		生涯学習課																
重要業績評価指標 KPI	指標名	0才から楽しめるファミリーコンサートの参加者数																
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	<table border="1"> <caption>参加者数推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,289</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,182</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,250</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>870</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table>	年度	参加者数	H26	0	H27	1,289	H28	1,182	H29	1,250	H30	870	R1	800
	年度	参加者数																
	H26	0																
H27	1,289																	
H28	1,182																	
H29	1,250																	
H30	870																	
R1	800																	
目標値	R1 年度	800 人																
実績値	H30 年度	870 人																

具体的な施策	施策名	子どもを対象としたスポーツイベントの開催																																						
	施策内容	子どもの体力向上を目指すため、子どもを対象としたスポーツイベントを開催する。																																						
	取組状況 (H30 年度)	<p>体育館無料開放事業やファミリースポーツの集い等、子どもを対象としたスポーツを始めるきっかけとなるようなスポーツ事業の開催や、障がい児のスポーツ活動を支援するため、体育館や温水プールの無料開放事業を開催した。</p> <p>また、子どもの体力向上施策として、陸上長距離走記録会や水泳競技大会など種目別のスポーツ競技会を実施した。</p>																																						
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点] 体育館無料開放事業については事前申込の必要が無く、また競技性の低い事業であるため、参加者も多く安定した事業運営を図ることができた。</p> <p>また、陸上競技や水泳競技などは、学年に関係なく気軽に行うことができる競技種目であり、その発表の場としての長距離走記録会や水泳大会の開催は有意義なものであると考えている。</p> <p>[R1 年度の取組予定] 体育館無料開放事業や陸上長距離走記録会、水泳競技大会等の子どもを対象としたスポーツ事業を開催する。</p> <p>また、障がい児のスポーツ活動を支援する事業等、障がい児を含む障がい者のスポーツ活動を行うためのきっかけとなるスポーツイベントを開催する。</p>																																						
主担当課		スポーツ振興課																																						
KPI 重要業績評価指標	指標名	子どもを対象としたスポーツイベントなどの参加者数																																						
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	2,251 人	<table border="1"> <caption>参加者数推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数</th> <th>属性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>2,251</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2,301</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2,255</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2,355</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,466</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>2,350</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1,800</td> <td>目指す値</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,850</td> <td>目指す値</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,950</td> <td>目指す値</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2,000</td> <td>目指す値</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,300</td> <td>目指す値</td> </tr> </tbody> </table>	年度	参加者数	属性	H26	2,251	現状値	H27	2,301	現状値	H28	2,255	現状値	H29	2,355	現状値	H30	2,466	現状値	R1	2,350	目標値	H26	1,800	目指す値	H27	1,850	目指す値	H28	1,950	目指す値	H29	2,000	目指す値	H30	2,300	目指す値
	年度	参加者数	属性																																					
	H26	2,251	現状値																																					
H27	2,301	現状値																																						
H28	2,255	現状値																																						
H29	2,355	現状値																																						
H30	2,466	現状値																																						
R1	2,350	目標値																																						
H26	1,800	目指す値																																						
H27	1,850	目指す値																																						
H28	1,950	目指す値																																						
H29	2,000	目指す値																																						
H30	2,300	目指す値																																						
目標値	R1 年度	2,350 人																																						
実績値	H30 年度	2,466 人																																						

具体的な施策	施策名	トップアスリートと市内総合型地域スポーツクラブ、市の連携事業の開催																
	施策内容	市内スポーツ施設を活用したトップアスリートと触れ合えるスポーツイベントを積極的に開催する。																
	取組状況 (H30年度)	市が市内総合型地域スポーツクラブや体育施設指定管理者等と連携し、トップアスリート等と触れ合えるスポーツイベントやスポーツスクールを開催し、子どもたちがスポーツに憧れや夢を抱くことができるようにするとともに、スポーツを身近に感じることができる機会を創出した。																
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>普段は触れ合うことができないオリンピックメダリストから直接指導を受けられることや、メダリストの技術を目の当たりにできたことは、子どものみならず大人もスポーツに憧れや夢を抱くことができ、スポーツの楽しさを実感してもらうことができた。</p> <p>なお、東京オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップの開催を控え、今後はその関心の高まりを活かし、スポーツを通じた地域の活性化を図りたい。</p> <p>※指標の「市内各種スポーツイベントの参加者数」については、市主催のイベントのみカウントしており、総合型地域スポーツクラブや体育施設指定管理者の自主事業などを含めると、スポーツをする人は増加傾向にある。</p> <p>[R1年度の取組予定]</p> <p>体育施設指定管理者とトップアスリートや世界最高峰サッカークラブ、ラグビーワールドカップ出場国チーム等との連携によるスポーツスクールの実施。生駒市の地形を生かしたトレイルラン教室の開催。</p>																
主担当課		スポーツ振興課																
重要業績評価指標 KPI	指標名	市内各種スポーツイベントの参加者数																
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	20,661人	<table border="1"> <caption>市内各種スポーツイベントの参加者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>20,661</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>19,462</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>19,200</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>19,600</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>16,065</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>21,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	参加者数	H26年度	20,661	H27年度	19,462	H28年度	19,200	H29年度	19,600	H30年度	16,065	R1年度	21,000
	年度	参加者数																
	H26年度	20,661																
H27年度	19,462																	
H28年度	19,200																	
H29年度	19,600																	
H30年度	16,065																	
R1年度	21,000																	
目標値	R1年度	21,000人																
実績値	H30年度	16,065人																

補助指標	指標名	総合型地域スポーツクラブの会員数												
	実績値	H30年度	752人	<table border="1"> <caption>総合型地域スポーツクラブの会員数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>616</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>592</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>679</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>752</td> </tr> </tbody> </table>	年度	会員数	H26年度	616	H27年度	592	H28年度	679	H30年度	752
		年度	会員数											
		H26年度	616											
		H27年度	592											
H28年度	679													
H30年度	752													
H29年度	679人													
H28年度	592人													
H27年度	616人													

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・様々な人に文化やスポーツに触れてもらえる機会を創 出できている。今後も継続して取り組まれない。
	6	2					

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・人気があるイベントについては、開催回数を増やすなど、ニーズに応えられるよう検討されたい。
------------------------	---

○評価結果

A:高い成果が得られた

基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

3-1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり

3-1-3 教育環境の充実

具体的な施策	施策名	学校図書館司書の配置の拡充																							
	施策内容	学校図書館の利用を促進し、市立図書館との連携を深めることで、子どもの読書を促進し、読書の楽しさや大切さを伝えるため、小中学校に図書館司書を配置します。																							
	取組状況 (H30 年度)	全小中学校に学校司書を週 3 日配置し、学校図書館の活性化と児童生徒の読書活動の推進に取り組んだ。また、ビブリオバトル大会への参加も活発化し、全国大会も生駒市で開催した。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>学校司書による本選びのアドバイスや絵本の読み聞かせが児童生徒の読書意欲向上に結び付き、図書の新着冊数が前年度より増加した。小学校の読書意識が高いことに対して、中学校の読書意識は比較的低い。</p> <p>[R1 年度の取組予定]</p> <p>児童生徒の読書意識の向上を図ると共に、学校図書館が関係機関や地域との連携した取組を実施する。</p>																							
主担当課		教育指導課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	1 日 30 分以上読書をしている児童生徒の割合																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	33.0%	<table border="1"> <caption>読書率推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>33.0</td> <td>34.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>33.1</td> <td>34.7</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>30.3</td> <td>35.3</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>33.1</td> <td>36.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>35.1</td> <td>36.7</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>37.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値 (%)	目標値 (%)	H26	33.0	34.0	H27	33.1	34.7	H28	30.3	35.3	H29	33.1	36.0	H30	35.1	36.7	R1	-	37.0
	年度	現状値 (%)	目標値 (%)																						
	H26	33.0	34.0																						
H27	33.1	34.7																							
H28	30.3	35.3																							
H29	33.1	36.0																							
H30	35.1	36.7																							
R1	-	37.0																							
目標値	R1 年度	37.0%																							
実績値	H30 年度	35.1%																							

具体的な施策	施策名	高山スーパースクールゾーン構想
	施策内容	市内初の施設一体型小中一貫校（生駒北小中一貫校）を新設し、9 年間を見通した教育課程の作成や、奈良先端科学技術大学院大学との連携事業など特色ある先進的な教育プログラムを実践します。また、就学前の教育、保育を総合的にサポートするため、幼保連携型認定こども園を開園します。

	<p>取組状況 (H30年度)</p>	<p>【教育総務課】 新校舎の建設及び屋内運動場の改修については、H28年度に完了しているが、新たな施設の適切な維持管理等に努め、小中一貫教育の円滑な実施に寄与した。</p> <p>【教育指導課】 いくつかの教科で小学校の教員が中学校で、また中学校の教員が小学校で教える乗り入れ指導を実施し、体験学習などで特色ある授業を行った。また、先端大での中学生対象の特別授業や先端大の教員が中学校へ出向く出前授業の実施など必要な取組を概ね行った。</p> <p>【こども課】 H30年4月に高山幼稚園と北倭保育園の統合に伴う幼保連携型認定こども園（たかやまこども園）を開園した。</p> <p>【学校給食センター】 H30年7月に生駒北学校給食センター建設工事に着手した。</p>
	<p>取組状況についての課題等</p>	<p>【教育総務課】 [良かった点・悪かった点] 特になし。 [R1年度の取組予定] 学校施設の継続的な維持管理</p> <p>【教育指導課】 [良かった点・悪かった点] 9年間の系統的なカリキュラムによる学習、小中教員協働による教育効果。地域と連携した特色ある学校教育。 教員の負担増。 [R1年度の取組予定] H30年度と同様に実施。</p> <p>【こども課】 [良かった点・悪かった点] 幼保連携型認定こども園として整備することで、保護者からの多様なニーズに応えることができた。 [R1年度の取組予定] たかやまこども園に対して私立保育所運営費補助金を交付するとともに、連携を蜜に図り運営が適正に実施されているかを把握する。</p> <p>【学校給食センター】 [良かった点・悪かった点] 生駒北学校給食センターの整備計画どおりの工程で事業を進行することができた。 [R1年度の取組予定] R1年6月に生駒北学校給食センターの施設完成、9月に運用開始予定。</p>
<p>主担当課</p>	<p>教育総務課・教育指導課・こども課・学校給食センター</p>	

KPI 重要業績評価指標	指標名	校区内公立小学校から公立中学校への進学率		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	82.0%	
	目標値	R1年度	90.0%以上	
	実績値	H30年度	87.4%	

KPI 重要業績評価指標	指標名	学校創造推進事業の実施回数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	1,718回	
	目標値	R1年度	1,788回	
	実績値	H30年度	1,517回	

具体的な施策	施策名	夢を与える講演会・学校創造推進事業		
	施策内容	各界で活躍する方（経営者、政治家、スポーツ、文化人ほか）を招き、子どもたちが優先して参加できる、夢を与える講演会を実施するなど、特色ある教育活動を実施します。		
	取組状況 (H30年度)	あこがれ“いこまびと”講演支援事業として、地域で邦楽に親しんでおられる方々の講演会を実施。学校創造推進事業として、各校で特色のある体験学習等を実施し、地域の方々との交流の機会を増やすなど、必要な取組を概ね行った。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>身近にいる方の邦楽への取組の講演や体験活動を通して、児童に向上心や自己有用感が芽生えた。</p> <p>地域の方や保護者の支援を受けて特色のある教育活動を、各校園で実施できた。</p> <p>[R1年度の取組予定]</p> <p>あこがれ“いこまびと”講演支援事業を2校で実施。</p> <p>学校創造推進事業を各校で実施。</p>		
主担当課		教育指導課		

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・公立中学校への進学率は向上しており、評価できる
	1	5	2				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校創造推進事業については、限られた予算の中で、子どもに多様な経験を与えられるよう検討されたい。 ・読書習慣を醸成するためには、継続的な取組が必要となるため、今後も引き続き取り組まれない。
------------------------	--

○評価結果

B: 予定どおりの成果が得られた

基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

3-1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり

3-1-4 協働による魅力創造

具体的な施策	施策名	生駒の魅力発信プロジェクト【先行型対象】
	施策内容	市民PRチーム「いこまち宣伝部」の運用などにより、市の魅力を発見・発掘する中で、まちへの愛情と誇りを深め、シビックプライドを醸成します。「生駒はいいまちだ」と言うロコミのチカラで、発信力を強化し、主体的にまちに関わる人を増やします。
	取組状況 (H30年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○フェイスブックチーム(新規11名、継続1名)が活動。市公式フェイスブック「まんてん いこま」で生駒の魅力を伝える情報を毎日配信した。 ○シビックパワーバトル大坂夏の陣を実施。実施にあたって、市民協創、ヤフー(株)との官民連携、近畿の政令市、中核市と連携した広域プロモーションを実現した。 ○いこまち親子写真部を実施。12組24人の小学生親子が参加し、全5回の活動を通じて、カメラを持ってまちあるきしながら、地域で働く人や地域の歴史・文化を感じる場所を撮影。活動の集大成として、作品展の開催(H31年3月6日～26日)と作品展の電子ブックの作成を行った。
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宣伝部員が取材活動を通じて、地域の魅力を再発見することでまちへの愛情や誇りが格段に向上した。フェイスブックのページいいね!数は4,612(H31年3月31日時点)と1年で700以上増加し、着実に発信力を増している。 ○シビックパワーバトルでは、プレゼンに向けて生駒チームを結成するにあたって、公募枠のほか「いこまち宣伝部」「オープンデータデザイン講座」と連携。本番まで自主的なミーティングと練習を重ね、生駒の魅力を深掘りすることで最優秀賞を受賞し、参加した市民のシビックプライドも醸成できた。また、多数メディアに取り上げられるとともに参加者自らSNS等で情報発信することで、本市のイメージ向上に寄与した。 ○いこまち親子写真部の保護者アンケート結果では、子どもの地域活動や活動している人への関心が高まったと感じた方が、約8割という結果だった。作品展では、来場者から180を超えるメッセージが寄せられた。 <p>[R1年度の取組予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域魅力創造の担い手を育成するとともに、コアなまちのファン

		作りを進めることを目的に、いこまち宣伝部について、フェイスブックでの情報発信にとどまらず、ポータルサイト「グッドサイクルいこま」編集会議への参画や取材等で知り合った「生駒の人」に会うツアーの企画・運営など活動の幅を広げる取組を実施予定。		
主担当課		いこまの魅力創造課		
K P I 重 要 業 績 評 価 指 標	指標名	生駒市に住んでいることに誇りを持っている人の割合 (H26・H28 は本調査、H27・H29・H30 は web 調査)		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	58.5%	
	目標値	R1 年度	61.5%	
	実績値	H30 年度	57.4%	
	指標名	生駒市への居住を人に薦めたい人の割合 (H26・H28 は本調査、H27・H29・H30 は web 調査)		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	50.3%	
	目標値	R1 年度	53.3%	
	実績値	H30 年度	61.3%	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・指標が上昇傾向にあり、生駒の魅力創造が進んできていると感じる。
	4	2	2				

〔評価基準〕 A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・行政が保有しているデータを分析し、ターゲットを明確にした上で、市の魅力発信に取り組みたい。
------------------------	--

○評価結果

A:高い成果が得られた

基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

3-2 生駒の認知度や都市ブランド力を向上させる

3-2-1 まちの魅力発信

具体的な施策	施策名	子育て・教育環境の良さを効果的に発信【先行型対象】																
	施策内容	「暮らしやすいまち、生駒」の魅力を、事業者との協働によるバスツアー実施や市民等との協働によるPRサイトの構築などで広く伝える。																
	取組状況 (H30年度)	<p>○「IKOMA SUN FESTA」を実施。約50の事業者・市民活動団体・子育て世代の女性が出店し、子育て世代を中心に約11,800人が来場した。また、子育て世代に共感を得るイベントなどを動画にしてPRした。</p> <p>○4年前に運用を開始した既存PRサイト「生駒で子育て」は、行政情報を中心に掲載していたため、生駒ならではの価値や魅力を十分に伝えられているとはいえない状況だった。そこで、サイトの目的を見直し、市内外に生駒の魅力を伝え、地域参画や推奨意欲を喚起する都市活力協創ポータルサイト「グッドサイクルいこま」としてH31年2月にリニューアルし、コンテンツとデザインを一新した。</p>																
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>○「IKOMA SUN FESTA」が本市のイベントとして定着し、本市のイメージ向上に大きく寄与している。</p> <p>○サイトリニューアルでは、市民PRチーム「いこまち宣伝部」が参画した編集会議を行い、ターゲットと同世代の市民目線で厳選した情報を掲載することができた。</p> <p>[R1年度の取組予定]</p> <p>ポータルサイト「グッドサイクルいこま」を効果的に運用し所期の目的を達成すべく、更なるサイトコンテンツの充実、webマガジンやweb広告を活用した市外向け情報発信などを実施予定。</p>																
主担当課		いこまの魅力創造課																
重要業績評価指標 KPI	指標名	PRサイトユニークユーザー数																
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>PRサイトユニークユーザー数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>ユニークユーザー数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>5,650</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>12,462</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>10,425</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>16,337</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>16,337</td> </tr> </tbody> </table>	年度	ユニークユーザー数	H26	0	H27	5,650	H28	12,462	H29	10,425	H30	16,337	R1	16,337
	年度	ユニークユーザー数																
	H26	0																
H27	5,650																	
H28	12,462																	
H29	10,425																	
H30	16,337																	
R1	16,337																	
目標値	R1年度	2,500人																
実績値	H30年度	16,337人 旧サイト:8,802人 新サイト:7,535人																

	指標名	子育て層の転入者数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H25 年度	1,179 人	
	目標値	R1 年度	1,238 人	
	実績値	H30 年度	859 人	

具体的な施策	施策名	子育て関連のパンフレット・ホームページ作成		
	施策内容	子育てに関する事業・施策の内容、利用の仕方、実施主体などが明記されたパンフレットを作成するなど、市内外への情報発信を行います。		
	取組状況 (H30 年度)	従来から行っていたチラシやパンフレット・ホームページ等の情報発信に加え、「つどいのひろば」のリーフレットを新たに作成し、ホームページにアップすることで、乳幼児を持つ親と子が気軽に集い交流できる場の周知を行った。また「子育てサロン」のリーフレットのデザインの見直しを行った。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>配布は施設配架だけでなく、家庭訪問時に渡すなどきめ細やかな周知に努めた。</p> <p>[R1 年度の取組予定]</p> <p>印刷部数を増やし、配布場所を増やす。子育てに特化したアプリやサイトを利用して、更なる情報発信を行う。</p>		
主担当課		子育て支援総合センター		
重要業績評価指標 KPI	指標名	パンフレット配布部数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	
	目標値	R1 年度	1,000 部	
	実績値	H30 年度	1,300 部	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・イベントや情報発信等、取組は評価できるが、転入者の増加には結びついていない。今後に期待する。
	1	4	2	2			

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・SNS等による魅力発信に固執するのではなく、多様な媒体を駆使して、あらゆる層に情報を伝達できるよう取り組まれない。
------------------------	--

○評価結果

B:予定どおりの成果が得られた

基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

3-2 生駒の認知度や都市ブランド力を向上させる

3-2-2 観光振興や広域交流の促進

具体的な施策	施策名	観光・交流の促進																
	施策内容	観光資源の整備や魅力のPR等に努め、生駒市に訪れる観光客数や交流人口の増加を目指します。																
	取組状況 (H30年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・商工観光ビジョンで集客拠点として位置づけた宝山寺参道周辺を中心に、市内外で行われるイベントや各種媒体を通じて、積極的にPRを行った。 ・生駒ケーブル100周年に因んで地元商店等と様々なイベントを開催したり、生駒山周辺のハイキングコース道標を多言語化にて整備するなど新たな取組みも行った。 ・インバウンド受入れ体制整備の第一歩として、観光関連業者に向けたセミナーやワークショップを開催した。 																
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ等を通じてインバウンド受入れに関する成功体験や悩みを事業者間で共有することができ、インバウンド取り込みに向けた意識の高まりが見られた。 ・台風なども影響し、全体的な来訪者数増には至っていない。 <p>[R1年度の取組予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本格的なインバウンド客誘客に向け、より実践的なセミナーやワークショップを開催し、関連事業者の受け入れ体制の整備を推進する。また、WEB媒体等を通じて、外国人に生駒市の魅力をPRしていく。 ・案内サインや、チラシの多言語化などハード面の整備も行う。 																
主担当課		商工観光課																
重要業績評価指標 KPI	指標名	観光地の来訪者数																
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	163万人	<table border="1"> <caption>観光地の来訪者数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>来訪者数 (万人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>168</td> </tr> </tbody> </table>	年度	来訪者数 (万人)	H26	163	H27	164	H28	155	H29	158	H30	154	R1	168
	年度	来訪者数 (万人)																
	H26	163																
H27	164																	
H28	155																	
H29	158																	
H30	154																	
R1	168																	
目標値	R1年度	168万人																
実績値	H30年度	154万人																

○総合戦略会議（全体会）からの平成 30 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・様々な取組を実施しているが、観光客数は減少している。観光地やイベントごとに細かく分析し観光客の増加に繋げられたい。
		1	4	3			

[評価基準] A: 高い成果が得られた B: 予定どおりの成果が得られた C: 一定の成果が得られた
D: やや不十分な成果にとどまった E: 成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド誘客に向けて、日本人とは違う、外国人観光客が持つ感覚・感性に理解を深める必要がある。 ・宝山寺のPRに取り組まれない。
------------------------	---

○評価結果

C: 一定の成果が得られた

附 属 資 料

1 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略〔平成27年(2015)年度―平成31(2019)年度〕(以下「総合戦略」という。)第1章の推進体制として掲げる生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議(以下「戦略会議」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(戦略会議の開催)

第2条 戦略会議は、総合戦略の進捗状況の検証を客観的に行う必要から、外部有識者等の意見を聴くために開催するものとする。

(参加者)

第3条 市長は、総合戦略を策定するに当たり開催した生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議開催要綱(平成27年5月27日施行)による生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の参加者のうちから戦略会議への参加を求めるものとする。

2 市長は、必要があると認めるときは、前項に規定する者以外の者に戦略会議への参加を求めることができる。

3 前2項に定めるもののほか、市長は、戦略会議の座長として学識経験のある者の参加を求めるものとする。

4 市長は、原則として、同一の者に継続して戦略会議への参加を求めるものとする。

(運営)

第4条 座長は、戦略会議を進行するものとする。

2 市長は、必要があると認めるときは、関係者に戦略会議への出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

3 市長は、必要があると認めるときは、戦略会議を部会に分けて開催することができる。

(開催期間)

第5条 戦略会議の開催期間は、総合戦略の進捗状況の検証が終了する時までとする。

(庶務)

第6条 戦略会議の庶務は、総合戦略を総括する課において処理する。

(施行の細目)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年3月9日から施行する。

2 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 参加者名簿

(全体会)

選出区分	氏名	所属母体・役職等
アドバイザー	ヒサ タカヒロ 久 隆浩	近畿大学 総合社会学部 教授
産業界	オオハラ サトシ 大原 暁	生駒商工会議所 専務理事
教育機関	レンゲ カズミ 蓮花 一己	帝塚山大学 学長
地域金融機関	タケモト カズヤス 竹本 和靖	(株)南都銀行 生駒支店 支店長
政府系金融機関	シノダ ナオキ 篠田 直喜	(株)日本政策金融公庫 奈良支店 支店長
労働団体	ナイトウ トシヒコ 内藤 利彦	連合奈良 西和地域協議会 議長
メディア	テツウ アツシ 鐵 東 敦史	(株)エヌ・アイ・プランニング 代表取締役
その他市長が必要と認める者	イシカワ チアキ 石川 千明	いこま育児ネット 元代表

3 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価集約表

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策名	施策内容	評価	担当部	担当課	該当頁
1 子育てしやすいまち	1・1 子育て層の時間的なゆとりをつくる	1-1-1 保育園の新設・機能強化	111① 保育所の整備	増加する保育需要に対応するため、待機児童の多い地域を中心にその解消等に向けた保育所の整備を行います。また、地域型保育事業の積極的な展開を進めます。	B	教育振興部	こども課	8
			111② 一時預かり保育等保育サービスの充実	保育所において、延長保育や一時預かり保育、休日保育、病児・病後児保育等を実施します。さらに、保育サービスの充実に向けた検討を行います。				9
			111③ 私立保育所の保育環境改善事業	私立保育所において、保育ニーズに応じた利用しやすいサービスが提供されるよう、事業者に対する働きかけや支援を行います。				10
		1-1-2 幼稚園の保育機能の充実	112① 幼稚園での預かり保育の実施	多様な保育需要に対応するため、市立幼稚園における長時間預かり保育を行います。	B	教育振興部	こども課	12
			112② 幼稚園における幼保一体化の支援（幼稚園への保育機能の強化）	幼稚園において、多様化する保育ニーズに対応した保育機能を充実するため、認定こども園の整備を行うとともに、幼稚園と保育園、学校と連携した就学前教育に取り組みます。				13
			1-1-3 病児保育機能の強化	113① 病児保育等、病院への育児機能の導入	市立病院等における病児保育サービスを拡充します。	D	教育振興部	こども課
	1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる	1-2-1 子育て層を応援する情報提供の推進	121① 子育て層向けの情報発信	妊娠・出産・子育てに関する知識・技能を修得するための講座開催とともに、乳幼児の予防接種や定期健診等のスケジュール、子育て層が訪れやすい店舗や交流機会など、ITを利用した多様な情報の発信に取り組みます。	B	教育振興部 福祉健康部 地域活力創生部	子育て支援総合センター 健康課 いまの魅力創造課 こども課	15
			121② 赤ちゃんの駅普及啓発事業	乳幼児とともに安心して外出できるよう、公共施設や商業施設において、オムツ替えや授乳が出来るスペース「赤ちゃんの駅」の設置を促進します。また、子育て層が子ども連れで安心して利用できる店舗や施設であることを登録し、発信します。				教育振興部
		1-2-2 子育て層の交流促進	122① 子育てサークルの支援	子育て層の孤立を防ぐため、子育て支援総合センターを中心とした子育て相談や育児教室の開催、子育てサークルによる活動の拡大等、子育て層同士の学び・交流の機会を充実します。	A	教育振興部	子育て支援総合センター	19
			122② パパのための子育てイベントの開催	男性の育児への積極的な参加を促すため、保育園や幼稚園、学校等と連携し、父親が主体となった子育て交流イベントを開催します。				教育振興部
		1-2-3 地域で子育てを見守る体制の強化	123① 地域・行政・周囲のひとによる子育ての見守り強化	乳幼児を持つ家庭への訪問による見守り、虐待等の未然防止に努めるとともに、家庭、保育機関、学校、地域等が連携して子どもの人権や安全を守る意識を育てます。	A	教育振興部 福祉健康部	子育て支援総合センター 健康課	21
		1-2-4 地域活動への参加機会の創出	124① ママのプロボノ活動促進事業	結婚や出産を機に退職した後、再就職を目指す女性や育児休業中の女性が、仕事で培った経験やスキルを活かしてプロボノ活動に参加することで、NPOの組織運営を支援するとともに、女性が社会貢献できる場を創出し、育児休業後のスムーズな職場復帰のサポートや再就職に向けたワーキングアップに取り組みます。		地域活力創生部	市民活動推進センター	23
	124② 新規NPOの立ち上げ支援		子育て層の社会参加の意欲を喚起し、地域社会の課題解決につながる活動に取り組もうとする新たなNPOの立ち上げに向けた支援や、活動推進に向けた基礎知識の習得、及びマネジメント等に向けた支援を行います。	B	地域活力創生部	市民活動推進センター	24	
	124③ NPOの広報活動の支援		子育てしながら、地域社会とのつながりを持った活動への参加を促進するため、からポート登録団体の活動内容のPRや、子育て層が気軽に参加できる団体実施事業の広報支援を行います。				地域活力創生部	市民活動推進センター

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策名	施策内容	評価	担当部	担当課	該当頁	
1 子育てしやすいまち	1, 3 良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる	1-3-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上	131①	公共施設の耐震化	耐震診断に基づく市庁舎の適切な耐震化の実施や、防災拠点における資機材整備を進めます。	B	総務部	防災安全課	27
			131②	乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄	乳幼児をもつ世帯を対象に、身の回りの安全チェックや災害発生時の行動等の防災知識の普及啓発を行うとともに、乳幼児用の防災用品を備蓄します。		総務部	防災安全課	27
			131③	自主防災会の活動支援・促進	自主防災活動を活性化するため、自主防災会の結成を促し、事業者等の複数団体等との連携による防災訓練の実施や、市民団体等への防災訓練の支援を行います。		総務部	防災安全課	29
			131④	自主防犯活動支援・促進	犯罪の起こりにくい明るいまちづくりの実現のため、自主防犯意識の高揚や防犯ネットワークの構築の推進など、地域による自主防犯活動を支援します。		総務部	防災安全課	29
		1-3-2 地球環境にやさしいエネルギー利用の推進	132①	再生可能エネルギー（太陽光発電等）の導入	官民連携のもと、市役所や市立病院等の公共施設を中心とした太陽光発電、蓄電池、コージェネレーションシステム等の導入に取り組みとともに、民間事業所等における再生可能エネルギーの導入促進に努めます。	C	地域活力創生部	環境モデル都市推進課	31
		1-3-3 住宅供給の推進	133①	既存住宅の流通支援	既存住宅流通等促進奨励金交付制度を創設し、既存住宅の流通を支援します。	B	都市整備部	都市計画課	33
	133②		既存住宅の診断や改修に対する支援による流通促進	耐震改修やリフォーム、バリアフリー化に関する相談窓口等を設置するとともに、耐震診断・改修に対する支援を行うことにより、既存住宅の流通を促進します。	都市整備部		都市計画課 建築課	34	
	1, 4 子育ての不安を軽減する	1-4-1 子育て世帯への経済的支援	141①	医療費助成等	子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、医療費の助成を中学校卒業までの子どもがいる家庭に拡充するとともに不育症に対する治療費の助成を行います。	B	福祉健康部	国保医療課 健康課	36
			141②	母子保健の充実	健やかな妊娠・出産を迎えるための妊婦一般健康診査の費用助成を行います。また、乳幼児健康診査・訪問指導・育児教室・子育て相談などの事業により、育児支援を行います。		福祉健康部	健康課	37
	2 母親が希望のしごとをできるまち	2, 1 企業での多様な働き方を広げる	2-1-1 ワーク・ライフ・バランスの推進	211①	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発	仕事と育児の両立を促進するため、市民や事業者へのワーク・ライフ・バランスについての意識啓発や、市役所や市内事業所を対象に、育児休業等の取得促進、ワーク・ライフ・バランス先進企業等の取組の紹介など、子育てしながら就業しやすい環境づくりを支援します。	B	市民部 地域活力創生部	男女共同参画プラザ 商工観光課
211②				テレワークの推進	ワーク・ライフ・バランスの実現や子育て層の女性の就業機会を拡大するため、テレワークの導入支援やサテライトオフィスの誘致、テレワークセンターの整備等を図り、テレワークの普及促進に取り組みます。	地域活力創生部		商工観光課	41
211③				女性の活躍推進	男女がそれぞれ、個性や能力を發揮した生きがいのある人生をおくれるよう、家庭や職場、地域社会等における女性の活躍促進に取り組みます。	市民部 市長公室		男女共同参画プラザ 人事課	42
2, 2 市内産業の活性化		2-2-1 市内産業の活性化	221①	企業の誘致	工業団地周辺の基盤整備や補助、支援制度の展開など、魅力ある創業環境を整え、新たな企業誘致に取り組みます。	B	地域活力創生部	商工観光課	44
			221②	設備導入等支援事業	事業拡大や生産性を向上させるため、事業所を対象に、機器購入や事業所の改装等に係る経費について補助を行います。		地域活力創生部	商工観光課	45

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策名	施策内容	評価	担当部	担当課	該当頁		
2 母親が希望のしごとをできるまち	2・3 子どもの近くで母親が希望する仕事に就ける環境をつくる	2-3-1 ビジネスにつながる人的ネットワークの形成	231①	産官学連携による起業希望者等・起業支援者交流会等の実施	起業意欲のある女性（子育て層）によるビジネスの立ち上げを目指し、パートナーとなる人材とのマッチングや、事業スキームの構築、実際の事業活動の立ち上げを支援する起業支援者との交流会を開催します。また、ビジネスプランコンテストを開催して、飛躍的な成長が期待できる起業者を認定し、集中的な育成支援を行います。	A	地域活力創生部	商工観光課	47	
			232①	起業者を支援する体制づくり及び情報発信	ヘルテラスいこまのイベントや起業支援スペースから芽生えた起業意欲のある方に対し、店舗経営のノウハウの継承・指導等の包括的な起業者の育成支援を実施します。また、そうした支援を効果的に行うための情報発信やワンストップ窓口の設置、起業支援セミナーの開催などを行います。	A	地域活力創生部	商工観光課	49	
		2-3-2 起業に対するきめ細かな支援の充実	232②	起業支援スペース等の整備	店舗運営をしたい子育て層の女性起業家に対して、経営指導員等の専門家からのアドバイスを受けながら試験的に店舗を運営し、事業の実現性を高めていく支援を行う場として、起業支援スペース等を整備し、起業者をハード、ソフトの両面から支援していきます。		地域活力創生部	商工観光課	50	
			232③	起業支援融資に係る利子補給	市内産業の活性化に向けて、市内起業家を対象とした、起業費用に対する低利融資・利子補給を行います。		地域活力創生部	商工観光課	51	
	2・4 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる	2-4-1 子育て支援に関する事業活動の創出	241①	地域型保育事業の整備	保育ニーズの高い地域を対象として、待機児童を解消するため、空き家等も活用した地域型保育事業の積極的な展開を進めます。	B	教育振興部	こども課	52	
			241②	ファミリーサポート事業の需要・供給両面からの利便性向上	ファミリーサポート事業における会員の登録を進め、地域の子育て支援に関わる人材を確保するとともに、会員相互が子どもを預け、預かる関係づくりを行い、より利用しやすい仕組みを整えます。		教育振興部	子育て支援総合センター	53	
		2-4-2 介護・福祉分野における事業活動の創出	242①	介護関係資格取得費の支援	市内の介護施設等で働く介護人材等の不足を解消するため、資格の取得等にかかる費用の支援等を行います。	C	福祉健康部	介護保険課	54	
			242②	地域密着型サービス事業所の整備	住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるよう、地域密着型サービス事業所の整備を進めます。		福祉健康部	介護保険課	55	
		2-4-3 食に関する地域産業の創出	243	243①	新規就農の支援	農地の斡旋、農地情報の提供、営農相談、設備投資支援等による新規就農者への支援制度を拡充することにより、地域農業の振興に努めます。	B	地域活力創生部	農業委員会事務局	56
				243②	農産物の加工・特産品の開発支援	農家と地元飲食店との交流機会の創出や、空き農地を活用した生駒市ならではの農作物や果樹の栽培などの取組の中から、農産物の加工、特産品の開発への支援を進めます。		地域活力創生部	農林課	56
	243③			地産地消の推進	黒大豆をはじめ学校給食用食材の安定供給に向けた生産拡大を進めるとともに、地場農産物の販売コーナーの設置などに取り組みます。	地域活力創生部		農林課	57	

[評価基準]A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策名	施策内容	評価	担当部	担当課	該当頁
3 子育て層（特に女性）が転入したいまち	3・1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり	3-1-1 イベントの開催	311① イコマニア100の実施	市主催や市民・団体との協働で行われる楽しい公共・公益イベントについて、「イコマニア」として認定し、情報発信することで、楽しいまちづくりを実現し、子育て世帯の定住や転入に繋げる。	A	地域活力創生部	市民活動推進課	60
		3-1-2 文化芸術活動やスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の創出	312① 文化芸術活動への参加機会の創出	小学校のブラスバンドや中学校の吹奏楽をはじめ、本市は音楽活動が非常に盛んであることから、子育て世帯が親子で参加できる音楽会を開催するなど、子育て層の文化芸術活動への参加を促進する。	A	生涯学習部	生涯学習課	62
			312② 子どもを対象としたスポーツイベントの開催	子どもの体力向上を目指すため、子どもを対象としたスポーツイベントを開催する。				
			312③ トップアスリートと市内総合型地域スポーツクラブ、市の連携事業の開催	市内スポーツ施設を活用したトップアスリートと触れ合えるスポーツイベントを積極的に開催する。				
	3・1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり	3-1-3 教育環境の充実	313① 学校図書館司書の配置の拡充	学校図書館の利用を促進し、市立図書館との連携を深めることで、子どもの読書を促進し、読書の楽しさや大切さを伝えるため、小中学校に図書館司書を配置します。	B	教育振興部	教育指導課	66
			313② 高山スーパースクールゾーン構想	市内初の施設一体型小中一貫校（生駒北小中一貫校）を新設し、9年間を見通した教育課程の作成や、奈良先端科学技術大学院大学との連携事業など特色ある先進的な教育プログラムを実践します。また、就学前の教育、保育を総合的にサポートするため、幼保連携型認定こども園を開園します。				
			313③ 夢を与える講演会・学校創造推進事業	各界で活躍する方（経営者、政治家、スポーツ、文化人ほか）を招き、子どもたちが優先して参加できる、夢を与える講演会を実施するなど、特色ある教育活動を実施します。				
		3-1-4 協働による魅力創造	314① 生駒の魅力発信プロジェクト	市民P Rチーム「いこまち宣伝部」の運用などにより、市の魅力を発見・発掘する中で、まちへの愛情と誇りを深め、シビックプライドを醸成します。「生駒はいいまちだ」という口コミのチカラで、発信力を強化し、主体的にまちに関わる人を増やします。	A	地域活力創生部	いこまの魅力創造課	70
	3・2 生駒を向上させようとする都市ブランド力	3-2-1 まちの魅力発信	321① 子育て・教育環境の良さを効果的に発信	「暮らしやすいまち、生駒」の魅力や、事業者との協働によるバスツアー実施や市民等との協働によるP Rサイトの構築などで広く伝える。	B	地域活力創生部	いこまの魅力創造課	72
			321② 子育て関連のパンフレット・ホームページ作成	子育てに関する事業・施策の内容、利用の仕方、実施主体などが明記されたパンフレットを作成するなど、市内外への情報発信を行います。				
		3-2-2 観光振興や広域交流の促進	322① 観光・交流の促進	観光資源の整備や魅力のP R等に努め、生駒市に訪れる観光客数や交流人口の増加を目指します。	C	地域活力創生部	商工観光課	75

